

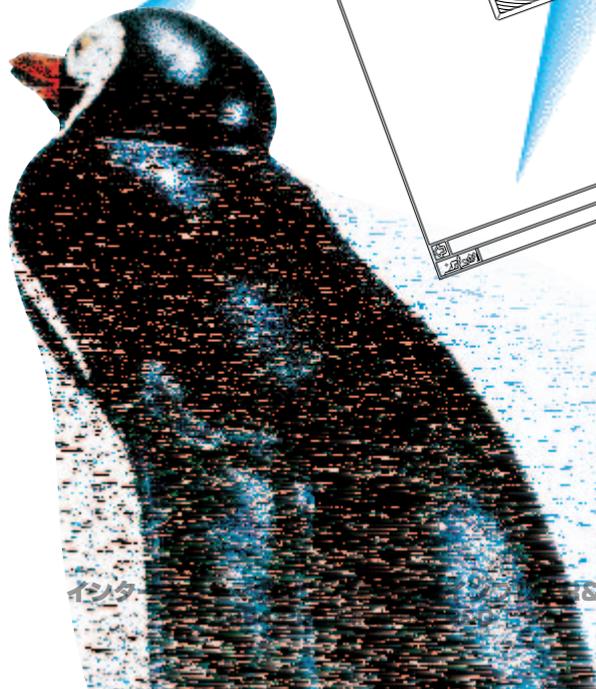
Coolなホームページの作り方

これで今日からあなたもホームページオーナー

ネットサーフィンをひととおりしてみたが、自分もCoolなホームページで世界に情報発信してみたい。そう思っている人も多いことだろう。プロバイダーの中には、会員のホームページを無料で設置するサービスを行っているところも増えてきた。個人でも、エディターとハイパーテキストの記述言語であるHTML(Hyper Text Markup Language)の知識さえあれば気軽にホームページを立ち上げられる環境が整ってきた。ここでは、そのHTMLの基本的な書き方、そしてできあがったホームページを実際に発信する方法を解説していく。

特集

川添 歩・編集部



“クール”ってなんだろう

ヒトは道具を創り、それを操る動物である。そして言うまでもなく、道具とヒトが棲む世界の広がりには密接な関係がある。

ところで私たちはふつう、道具を「不便を便利に変えるもの」という見方でとらえることが多い。しかし、とくにコミュニケーションに用いられる道具と私たちが造り上げていく意識の世界との間には、それ以上に注目すべき“感動的な関係”がある。

コミュニケーションのプロセスでは、私たちはさまざまな記号を部品として組み合わせ、解体するという操作を繰り返しながら、表現や解釈を行う。記号操作の道具には、紙と鉛筆から始まってさまざまなものがあるが、コンピュータは今世紀の生んだもっとも純粋な記号操作の道具だといえる。

こうした言語的な道具はいろいろなことができる“ゆとり”……別の言い方をすれば融通性、自由度を持っている。だが、道具に利便性だけを求める社会では、あらかじめ定められた使い方に従うことが奨励される。「この道具はこう使うものだ」と決められてしまうのである。

しかし、道具の使い方がずっと同じままであるのなら、まったく新しい考え方の優れた道具とその使い方は、いったいどこから出てくるのか？ 天才のひらめき？ そして私たちはただ黙々と次から次へと新しい使い方を覚え、効率アップに向けて努力するしかない？ そう考えると、道具なんて融通のきかない、なんにも面白くないモノになってしまう。さらに、その道具の助けを得て拡大していくはずの世界さえもつまらないものに思えてくる。

実は道具の面白さは、使う側のアイデア次第で、当初考えられた以外の使い方ができてしまう点にあるのだ。

コンテンツが道具によって新たな装いをまとって姿を現したとき、私たちのそれまでの思い込みを壊すような“新鮮な裏切り”を感じることもある。提示されるものと意識との幸運な出会いである。そんなとき、私たちは「ああ、こんなやり方もあったのか！」と感心させられ、「クール！」と言ってみたりする。そこで、私たちのうちの誰かが「こんなやり方！」をより便利に、あるいは楽しく行えるような道具を作ることになり、そしてその道具がまたさらに新しい世界を開いていくのである。

ことにコミュニケーションにまつわる道具開発の歴史はそうした感動・触発の連続であった、と私は考えたい。ついでに言えば、実はこうした感覚の欠如こそが、わが国の情報化政策の抱える問題の根幹なのだ。

今、私たちはインターネットという新しい仕組みを手に入れたことで情報の新大陸を切り開き、私たちの意識世界を拡張しようとしている。インターネットを介したコミュニケーションの魅力は、こうした形の発見を通じてネットワーク上に相互触発的に自分のプレゼンスを打ち出していける機会の均等さと豊富さにある。

もちろん“クール”であるだけでは新たな道具は作れない。しかし、まず“クール”さに気づき、感動し、感動させることが、新しい世界を切り開くための、より強力な道具作りの第一歩であることは間違いない。さて、私たちは今、WWWとHTMLという新しいコミュニケーションのための道具を手に入れている。これを「より便利」な方向に使うか、「クールで新たな感動」に向けて使うかはあなた次第である。

インターネットマガジン・シニアコラムニスト 今泉 洋

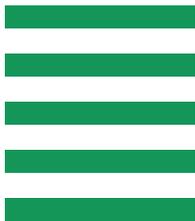


特集: COOL なホームページの作り方

第1部

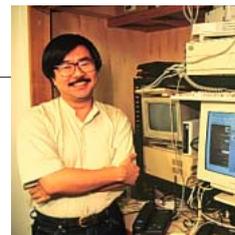
ホームページオーナーになるためのHTML入門

アクセス株式会社 川添 歩 ayumu@axes.co.jp http://www.axes.co.jp/
+ 編集部



1 HTMLって?

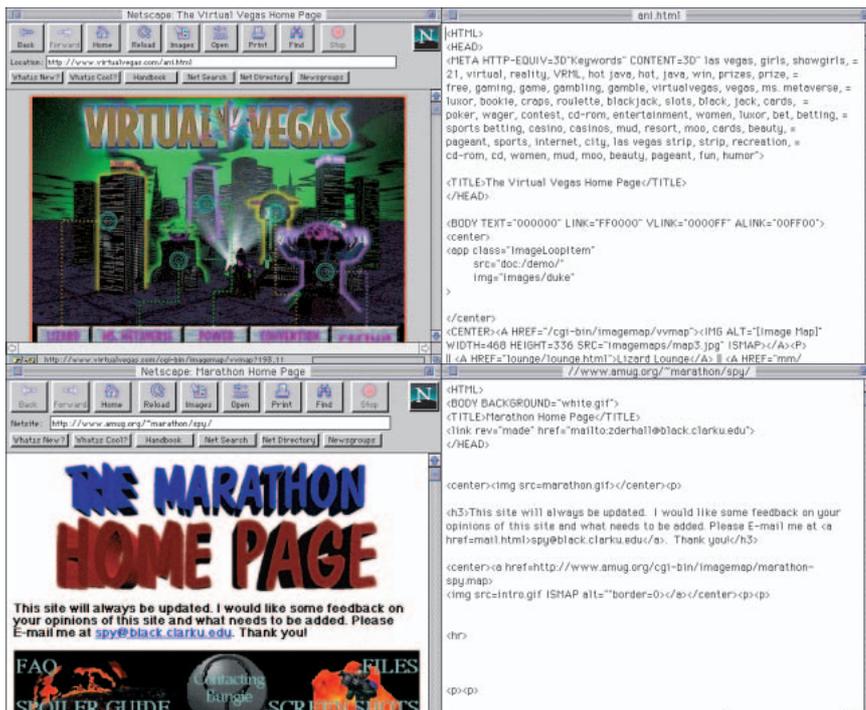
WWWで、あるページから他のページにリンクする仕組みをハイパーテキストという。そして、その指定をすることを英語でマークアップ (markup) するという。これは一種のプログラム言語なので、HyperText Markup Language、HTMLと呼ばれる。といっても、誰でも1日で基本は学べてしまうくらい簡単だ。



まずHTMLを覗いてみよう

HTMLとはどのようなものかを知るには、まず人の作ったHTMLを見てみるのが一番だ。あなたがすでにWWWブラウザでネットサーフィンをしているのであれば、どこかのサイトでもいいからまずページを表示してみたい。その上で、ブラウザのメニューからView Sourceを選んでみよう。テキストエディターが、今表示しているページのHTMLソースを開くはずだ。

WWWブラウザに表示されているものと、テキストエディターで開いたHTMLを比較して見てみると、なんとなくHTMLというものがどういふものかわかる。文字部分はそのままHTMLで書かれていて、その中にどうやら書体やグラフィックやリンクの指定がされている、と推察できるだろう。



Virtual Vegas (<http://www.virtualvegas.com/>) と3Dゲーム「マラソン」 (<http://www.amug.org/marathon/spy/>) のホームページとHTMLソース

先達に学ぶ

今月号の付録WWW on CDの「個人ページ特集」では、12名の個人ホームページオーナーの方々のご協力をいただき、そのページの内容をCD-ROMに収録している。WWWブラウザさえあれば、実際にインターネットに接続されていなくても各ページをブラウズすることができる。これらの力作から、ユニークなアイデア、レイアウトの工夫、色使い、その他のテクニックを学び、自分のCoolなホームページ作成に活かしてもらいたい。なお、CD-ROMの詳しい使用法は本誌p.222を参照のこと。



HTMLを書く準備

HTMLは要するに普通のテキストファイルだ。したがってHTMLを書くには、テキストエディターと、結果を確認するためのブラウザがあればよい。

書いたHTMLをテキストファイルとして保存したら、そのファイルをNetscapeなどのWebブラウザでOpen File (Netscape)とかOpen Local (NCSA Mosaic)といったメニューによって開くと、HTMLが解釈されてフォーマットされた結果が表示される。

この際、ファイル名の後ろが「.HTML」または「.HTM」になっていないと、ブラウザがそのファイルをHTMLとしてではなく単なるテキストとしてそのまま表示してしまう場合があるので、気をつける。

表示の結果を見て、直すところがあればエディターで直し、保存と表示を繰り返しながらHTMLを書いていく。

同じファイルについて何度も表示と変更を繰り返す場合は、エディターとブラウザを両方立ち上げておいて行き来するのがよいだろう。エディターでファイルに修正を加えて保存した後、ブラウザに戻ってメニューまたはツールバーからReloadをすることで、ファイルを再度指定することなく同じファイルが読み込まれる。

Tips

1

他のブラウザ利用者への配慮

利用するWWWブラウザによってHTMLの仕様やバージョンが異なるため、表示のされ方にも差が出てくる。最終的にはできるだけ複数のブラウザを入手して確認してみることがおすすめ。実際には、かなり多くのサイトは現在ほぼ標準仕様WWWブラウザの地位を獲得したNetscapeで見ることを前提として作られている。そのためNetscape用として作っても今のところは問題ない。ただしNetscapeの機能を多用してNetscape以外のブラウザでは思ったように見ることができない場合は、ホームページに「Netscapeで見てほしい」旨を書いておくとよい。

If This Page is Screwy Lookin' You Need [Netscape 1.1b2!](#)





2 HTMLの文法「タグ」

HTMLの中の「<」と「>」でくられたさまざまな設定や指定のことをタグと呼ぶ。このタグこそがHTMLの文法であるといってもよい。タグの種類はそれほど多くないし、必死になって覚えることもない。だいたいどのようなタグがあるのかを知っておいて、あとは必要に応じて本記事などを参照すれば十分だ。

空タグと対になったタグ

タグには空タグと対になったタグがある。

空タグとは単独で使用されるタグで、改行を示す
や区切り線を挿入する際のタグ<HR>がそれにあたる。

対になったタグは、文字列を前後でくって指定するタグで、たとえばある文字列の書体を指定する場合に使う。このタグは<タグ>文字列</タグ>という書式で書かれる。

タグは大文字で書いても小文字で書いて

もよい。

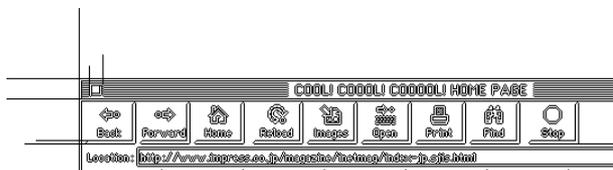
基本的なタグはこれだけ

下図がHTMLファイルのもっとも基本的な骨組みだ。この骨組みだけのファイルを作っておいて、いつもそれを書き換えてファイルを作るようにしておくとう便利だろう。

ブラウザが対応していないタグがあった場合はどうなるか。多くの場合、そのタグはなかったものと無視されるだけだ。すなわち「<」から「>」までの部分は表示さ

れない。ただし例外もあるので、できるだけ複数のブラウザで確認したほうがよい。

なお、このあとの説明は基本的にNetscapeを基準にして書いていく。特にNetscapeだけに対応しているタグにはのマークをつけてある。また、他のブラウザで異なる結果になるような場合は、その注意点を書くようにした。また、タグ内にある「n」はそこに数字が入ることを示し、「|」はそれで区切られたいくつかの選択肢のうち、どれか1つを入れることを示す。



【HTMLの骨組み】

<HEAD> ~ </HEAD>には本文以外の、HTMLのタイトルなどを指定する部分を入れる

<TITLE> ~ </TITLE>で囲んだ部分はタイトルで、<HEAD> ~ </HEAD>の間に書かれる。タイトルはウィンドウのタイトルとして表示されたり、またブラウザからファイルを保存するときにデフォルトでつけられる名前として使われる

<BODY> ~ </BODY>の間に、ブラウザで表示されるすべての本文が書かれる

```
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>タイトル</TITLE>
</HEAD>
<BODY>
本文
.....
.....
</BODY>
</HTML>
```

ホームページに表示するための記述部分の全体は<HTML> ~ </HTML>で囲む

Tips

2

タイトル裏技

タイトルは1つのHTMLファイルの中で何度でも書くことができ、そのたびにウィンドウのタイトル部分の表示が変わる。これを利用して電光掲示板のような効果やテキストを使ったアニメーション効果を出すことができる。ただし、これはそのページを表示するたびに再びアニメーションすることになるので、一度ならば面白く感じて二度三度となるとわずらわしいだけとなるかもしれない。配慮が必要だ。

文章を読みやすくするタグ

ホームページの文字の読みやすさは、1行中に入れる文字数や段落の区切りを工夫することで向上する。改行や区切り線のタグを上手に活用しよう。

改行

HTMLで改行を入れてもブラウザで見える場合には意味をもたず、前後の行はつめて表示される。ただし、タグ内に改行を含むとそのタグが正常に機能しない場合があるので、「<」と「>」の間には改行を入れないで書いたほうがよい。ブラウザで改行をさせるためには次のタグを使う。図でHTMLと実際の表示例を示したので参照してほしい。

区切り線

テキストに改行以外でなんらかの区切りをつけたいときは、行の間に水平の線を入れることができる。

区切り線 <HR>

ウィンドウの左端から右端まで、くぼんだような線が表示される。

<くぼみのない線>

<HR NOSHADE>

ただの黒い線が表示される。

区切り線の幅指定

<HR SIZE=n>

数字は線の幅をピクセル数で記述する。

区切り線の長さ指定

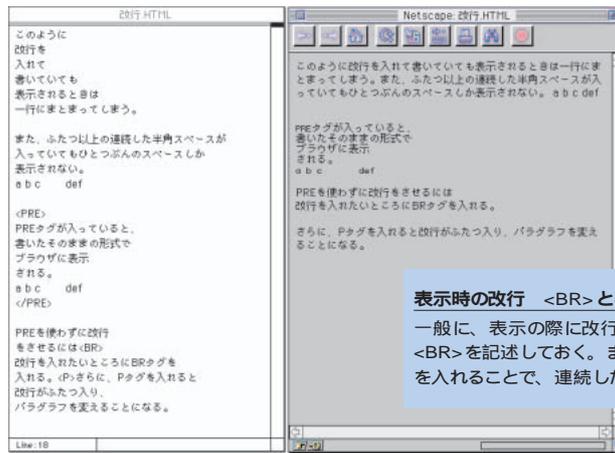
<HR WIDTH=n>

nにはピクセル数を表す数字か、またはウィンドウの幅に対するパーセンテージ (HR WIDTH=n%) を記述する。

区切り線の行揃え

<HR WIDTH=n ALIGN=LEFT ; RIGHT ; CENTER>

長さの指定をしたときに、さらに線を左右中央のどこに合わせるかを指定できる。



テキストの改行を指定するHTMLと表示例

ソース中の改行を反映する

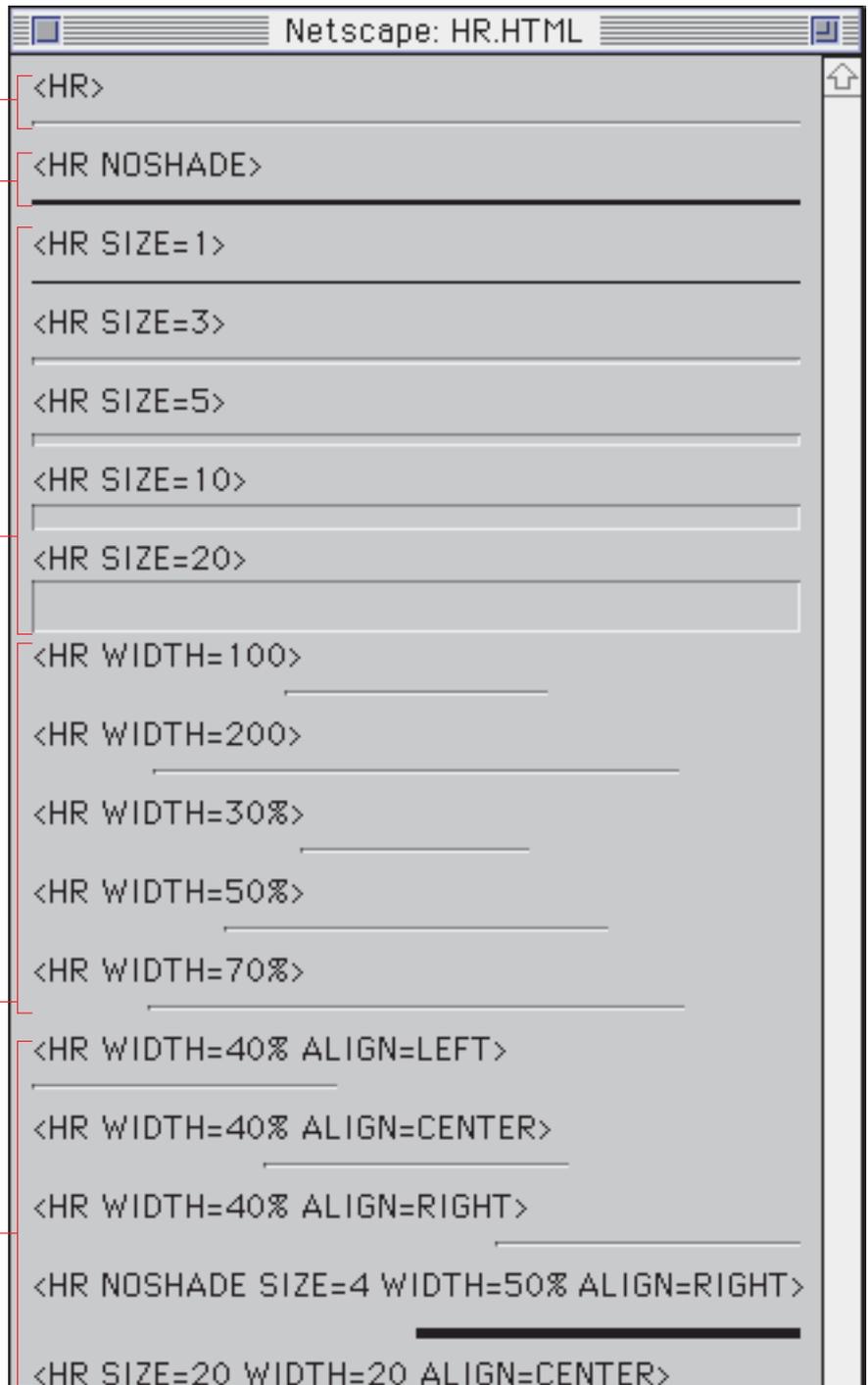
<PRE>

<PRE> タグを使うと、ソース中の改行がブラウザで見たときに反映される。

表示時の改行
 と<P>

一般に、表示の際に改行を入れるには、入れたい場所に
を記述しておく。また、段落の区切りなどでは<P>を入れることで、連続した2つの改行が挿入される。

区切り線の表示例





3 文章をレイアウトする

HTMLで文章を修飾する方法には2種類ある。1つは、見出しや強調する部分を「ここは見出し」という意味付けで指定するもので、実際にその部分がどう見えるかはブラウザによって異なる。もう1つは、直接文字の書体を指定する方法だ。

文字の大きさを変える

紙の出版物と同様、ホームページで表示する文字も目立たせたい部分は大きく、逆に補足的な部分は小さくするのが常識だ。文字の大きさの指定方法には次のものがある。図と見比べながら確認してみよう。

基本フォントサイズ変更

<BASEFONT SIZE=n>

HTMLの最初において基本フォントサイズを指定する。数字は1から7までで、FONT SIZEの数字による指定と同じ。

Tips

3

Netscapeのフォントサイズ

文字の大きさの指定はどれも意味付けによるものなので、実際のフォントサイズはブラウザや、その設定によって異なる。NetscapeではPreferencesのFont and Colorsで指定したフォントサイズがあるいは<H4>の文字の大きさになる。

1つのページの中ではせいぜい3~4種類ぐらいの大きさを使うのがよいだろう。それ以上の段階を設けるのであれば、むしろページを分割したほうがわかりやすくなるからだ。

各種フォントサイズの表示例 (Mac, Osaka フォントの場合72dpi)

1

① 見出しによる指定 <Hn> ~ </Hn>

見出しの指定は<H2>のように書く。Hの後には見出しの段階に応じて1から6までの数字を入れる。1がもっとも上位の見出しで、大きい文字で表示される。6では文字も本文(無指定のテキスト)より小さくなる場合もある。

見出しで指定された文字列の後ろには必ず自動的に改行が入り、行間が空けられる。またNetscapeなどでは太字となる。

2

② フォントサイズによる指定

 ~

のように数字(1~7)で文字の大きさを指定する。見出しの<Hn>では数字の小さいほうが大きい文字になったが、FONT SIZEでは逆であることに注意。数字が大きいほど文字も大きくなる。見出しによる指定と異なり、改行は指定しない限り入らないし、文字の太さも指定しない限り普通の太さである。

3

③ フォントサイズ変更指定

 ~

基本となるフォントサイズからより大きいもの、小さいものを相対的なサイズで指定する。基本フォントサイズは前述のBASEFONTタグで指定するが、BASEFONTタグで指定していない場合はの大きさが基本サイズである。

各種文字修飾のタグ

① 太字にする

いくつかのブラウザでは見出しの指定をするとその文字は太字となるが、見出し以外で文字を強調するために太くするには以下のような方法がある。

太字 ~

この指定をした部分の文字が太くなる、物理的な指定。

強い強調

 ~

論理的な指定。通常これにより太字になる。

どちらを使ってもほぼ同様の結果が得られる。たいていが使われる。

② 斜体にする

英文では文章中の一部を強調するときや引用するときに斜体を使用するが、日本語では斜体にする読みにくい場合も多いので、日本語で強調したい場合には太字を使用したほうがよいだろう。

斜体 <I> ~ </I>

この指定をした部分の文字が斜体になる、物理的な指定。

強調 ~

論理的な指定。通常これにより斜体になる。

引用 <CITE> ~ </CITE>

引用部分を明示するためのタグで、通常これにより斜体になる。

引用の場合には後述のブロック引用を使うほうがよい。

変数 <VAR> ~ </VAR>

プログラムや計算式の解説中で特定の文字が変数であることを示すタグ。通常これも斜体になる。<VAR>は変数を示すとき以外に使用する意味はないだろう。

③ 文字を点滅させる



点滅 <BLINK> ~ </BLINK>

Macintosh用のNetscapeでは、テキストのバックが点滅する。

④ 等幅フォントを使う

プログラムコードを記述したり、表を記述するときなどに、空白文字を入れて桁を揃えるために、等幅フォントを使いたいときがある。文章中の一部分を等幅にするのであれば<TT>などでよいだろうが、まとまった行を等幅で表示するのであれば、<PRE>を使うほうが
を入れる必要もないので便利。ただし<PRE>タグの間では<I><U>以外の書式指定は使わないほうがよい。

タイプライター <TT> ~ </TT>

この指定をした部分の文字が等幅になる、物理的な指定。

キーボード入力 <KBD> ~ </KBD>

コード <CODE> ~ </CODE>

この指定をした部分の文字が等幅になる、論理的な指定。本来の使い方では、前者はキーボードの入力を、後者はプログラムコードを記述する際に使用する。

フォーマットつき <PRE> ~ </PRE>

このタグで囲まれた部分は、改行や空白（タブは使わないほうがよい）を含めてソースをそのままの形で等幅フォントで表示する。タグの前後には自動的に1行ずつ空きが作られる。

各種文字修飾のタグの表示例

Netscape: tags.html

Location: file:///Hard%20Disk/tags.html

太字
強い強調

斜体
強調
引用
変数

点滅

等幅の書体
タイプライター
キーボード入力
コード

フォーマットつき：このタグで囲まれた部分は、改行や空白（タブは使わないほうがよい）を含めてソースをそのままの形で等幅フォントで表示する。

<通常の段落>

200年前、イギリスでおこった産業革命は、社会構造全体を変えてゆく大今、世界中でいっせいはじまっているデジタルネットワークによる情報しのぐ規模で、現在の世界の様々なくみを変えてゆくことは間違いありません。

<BLOCKQUOTEで囲んだ場合>

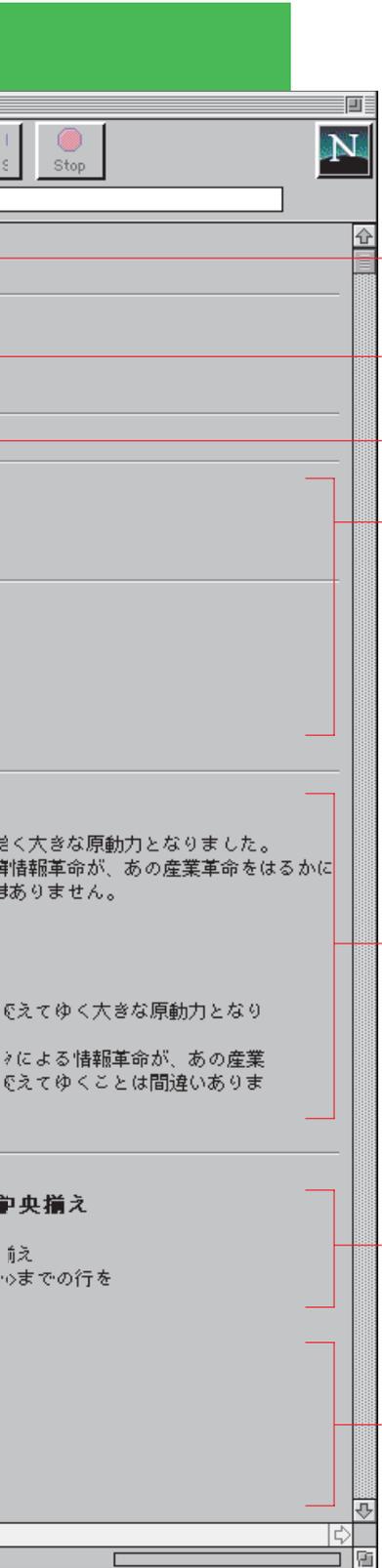
200年前、イギリスでおこった産業革命は、社会構造全体を変えてきました。今、世界中でいっせいはじまっているデジタルネットワークによる革命をはるかにしのぐ規模で、現在の世界の様々なくみを変えてせん。

<H3 ALIGN=CENTER>による中央揃え

<P ALIGN=RIGHT>による右寄せ

<P ALIGN=RIGHT>による右寄せは</P>までの行をすべて右寄せにする。

-----はずだがNetscapeは対応していない。



- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7

```

<B>太字</B><BR>
<STRONG>強い強調</STRONG><BR>
<HR>
<I>斜体</I><BR>
<EM>強調</EM><BR>
<CITE>引用</CITE><BR>
<VAR>変数</VAR><BR>
<HR>
<BLINK>点滅</BLINK><BR>
<HR>
<TT>等幅の書体</TT><BR>
<TT>タイプライター</TT><BR>
<KBD>キーボード入力</KBD><BR>
<CODE>コード</CODE><BR>
<HR>
<PRE>
フォーマットつき：このタグで囲まれた部分は、
改行や空白（タブは使わないほうがいい）を含
めてソースをそのままの形で等幅フォントで表
示する。
</PRE>
<HR>
<b>&lt;通常の段落&gt;</b><P>
200年前、イギリスでおこった産業革命は、社会
構造全体を変えてゆく大きな原動力となりました。
<br>
今、世界中でいっせいはじまっているデジタルネ
ットワークによる情報革命が、あの産業革命をは
るかにしのぐ規模で、現在の世界の様々なしくみ
を変えてゆくことは間違いありません。
<P><BR>
<b>&lt;BLOCKQUOTEで挟んだ場
合&gt;</b><br>
<BLOCKQUOTE>
200年前、イギリスでおこった産業革命は、社会
構造全体を変えてゆく大きな原動力となりました。
<br>
今、世界中でいっせいはじまっているデジタルネ
ットワークによる情報革命が、あの産業革命をは
るかにしのぐ規模で、現在の世界の様々なしくみ
を変えてゆくことは間違いありません。
</BLOCKQUOTE>
<HR>
<H3 ALIGN=CENTER>&lt;H3
ALIGN=CENTER&gt;による中央揃え</H3>
<P ALIGN=CENTER>&lt;P
ALIGN=CENTER&gt;による中央揃え<BR>
&lt;P ALIGN=CENTER&gt;による中央揃え
は&lt;P&gt;までの行を<BR>
すべて中央揃えにする。</P>
<H3 ALIGN=RIGHT>&lt;H3
ALIGN=RIGHT&gt;による右寄せ</H3>
<P ALIGN=RIGHT>&lt;P ALIGN=RIGHT&gt;
による右寄せ<br>
&lt;P ALIGN=RIGHT&gt;による右寄せ
は&lt;P&gt;までの行を<BR>
すべて右寄せにする。</P>
<b>.....はずだがNetscapeは対応していないし、
</b>
    
```

行揃え

ある行、または段落の位置揃えを変える方法がいくつかある。

5 字下げ（インデント）

ブロック引用
 <BLOCKQUOTE> ~ </BLOCKQUOTE>
 引用の場合ばかりでなく、ある範囲の文章をまとめて字下げをするためによく使われる。左側が字下げされるだけでなく、右側にも同様のスペースが置かれる場合がある。

6 中央揃え（センタリング）

見出しの中央揃え
 <Hn ALIGN=CENTER> ~ </Hn>
 前出の<Hn> ~ </Hn>にオプションを加えることで、中央揃えになる。

テキストと画像の中央揃え 
 <CENTER> ~ </CENTER>
 このタグで囲った部分は、文章、画像ともに中央揃えになる。

テキストの中央揃え
 <P ALIGN=CENTER> ~ </P>
 このタグで囲った部分が中央揃えになる。

7 右寄せ

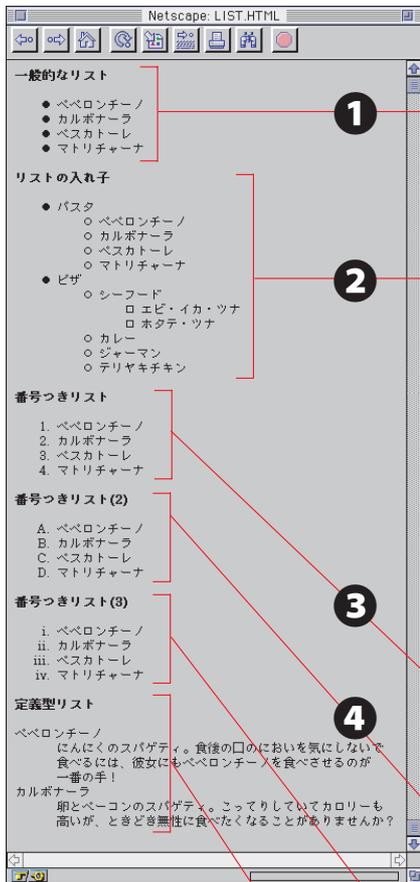
右寄せは現在Netscapeなどではサポートされていない。ただし、後述の表（TABLE）を使えば、見出し以外のテキストを右寄せにすることは可能だ。

見出しの右寄せ
 <Hn ALIGN=RIGHT> ~ </Hn>
 前出の<Hn> ~ </Hn>にオプションを加えることで、右寄せになる。ただし現在のNetscapeではサポートされていない。

テキストの右寄せ
 <P ALIGN=RIGHT> ~ </P>
 このタグで囲った部分が右寄せになる。ただし現在のNetscapeではサポートされていない。

4 リスト形式のデータを整理する

箇条書きのような用途に、リスト形式に表示するタグが用意されている。これによってリストの階層も作れ、いくつか便利なオプションも用意されている。



リストの表示例

```

<b>一般的なリスト</b>
<UL>
  <LI>ベベロンチーノ
  <LI>カルボナーラ
  <LI>ペスカトーレ
  <LI>マトリチャーナ
</UL>

<b>リストの入れ子</b>
<UL>
  <LI>パスタ
    <UL>
      <LI>ベベロンチーノ
      <LI>カルボナーラ
      <LI>ペスカトーレ
      <LI>マトリチャーナ
    </UL>
  <LI>ピザ
    <UL>
      <LI>シーフード
      <LI>エビ・イカ・ツナ
      <LI>ホタテ・ツナ
    </UL>
  <LI>カレー
  <LI>ジャーマン
  <LI>テリヤキチキン
</UL>

<b>番号つきリスト</b>
1. ベベロンチーノ
2. カルボナーラ
3. ペスカトーレ
4. マトリチャーナ

<b>番号つきリスト(2)</b>
A. ベベロンチーノ
B. カルボナーラ
C. ペスカトーレ
D. マトリチャーナ

<b>番号つきリスト(3)</b>
i. ベベロンチーノ
ii. カルボナーラ
iii. ペスカトーレ
iv. マトリチャーナ

<b>定義型リスト</b>
ベベロンチーノ
にんにくのスパゲティ。食後の口においを気にしないで
食べるには、彼女にもベベロンチーノを食べさせるのが
一番の手!
カルボナーラ
卵とベーコンのスパゲティ。こってりしていてカロリーも
高いが、ときどき無性に食べたくありませんか?

```

① 番号なしリスト

```
<UL><LI></UL>
```

 と で箇条書きにする部分を囲み、各項目の頭に をつける。行末に
 をつける必要はない。Netscape では行頭に「」がつく。

② リストは階層にすることも可能。Netscape では階層が変わると行頭に「」や「」に変わる。

③ 番号つきリスト

```
<OL><LI></OL>
```

マークの代わりに連番をつけたい場合はこちらを使用する。 と で箇条書きにする部分を囲み、各項目の頭に をつけるのは同様。

④⑤ また、Netscape では連番の形式としてローマ数字でなく、アルファベットやギリシヤ数字を指定できる。リスト全体ならば に、ある項目以降ならば に、オプションをつけて <OL TYPE=A|a|ii|iii|1> のように記述する。

さらに開始番号を1以外にしたければ、 のオプションとして VALUE=n を付加する機能も Netscape にはある。連番の指定をアルファベットなどにしていても、VALUE で指定するのは数字であることに注意。

ただし、これら機能は Netscape でしか指定のとおりに表示されないため、見る人の間違いを防ぐためにできるだけ使わないほうがよいだろう。

⑥ 定義型リスト

```
<DL><DT><DD></DL>
```

辞書の言葉のように、見出し語があって、直後にその説明文がつくような形式のリスト。説明文部分は字下げされる。

<DL> と </DL> の間に、「<DT>見出し語」と「<DD>説明」の組みを続けて記述する。



5 テーブルタグで表を美しく

表形式のデータは桁を揃えて枠をつけると美しい。HTML 3.0は表組みをサポートする予定だが、Netscapeはそれを先取りするとともに拡張している。かなり多様な設定ができるが、それだけ複雑でもあるので、ソースは段下げをするなど工夫して全体の構成を見やすくしておかないと、すぐにわけがわからなくなるので注意しよう。

テーブルの定義

ページにテーブルを表示するには、まず表の始まりと終わりを次のようにTABLEタグで指定する。

```
<TABLE> ~ </TABLE>
```

また、TABLEタグのオプションで、

- ① 枠の表示
 - ② セル間のスペース
 - ③ セル内のスペース
 - ④ 表の幅
- を指定することができる。

① 枠の表示

```
<TABLE BORDER> ~ </TABLE>
```

BORDERをつけることによって、枠を表示する。NetscapeではさらにBORDER=nと数値を指定することで、外枠の太さをピクセル数で設定できる。

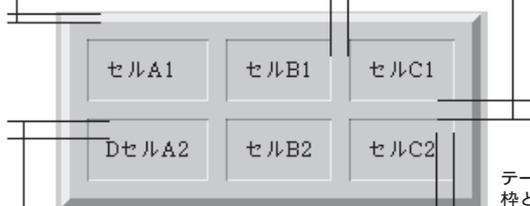
② セル間のスペース

```
<TABLE CELLSPACING=n>
```

枠を表示している状態ではセル間のスペースはすなわち枠の太さになる。

```
<TABLE BORDER=5>
```

```
<TABLE BORDER CELLSPACING=10>
```



テーブルの枠の太さ、
枠と文字との間隔を数値で指定

```
<TABLE BORDER CELLPADDING=10>
```

③ セル内のスペース

```
<TABLE CELLPADDING=n>
```

セル内のスペース（枠と文字とのすきまをどれだけとるか）を指定する。

④ 表の幅

```
<TABLE WIDTH=nin%>
```

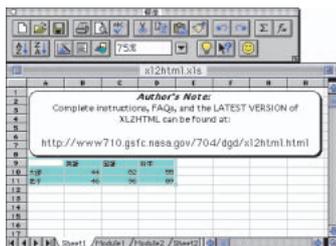
表の幅の指定の仕方は、<HR>の長さと同様、ピクセル数またはウィンドウの幅の何パーセント、という方法で行う。

Tips

4

Excelでテーブルをつくる

表計算ソフトMicrosoft Excel 5.0用のマクロ、XL2HTML.XLS (v.1.21)はExcelで作った表をHTMLに変換してくれるフリーのコンバーター。WindowsとMacintoshで利用できる。手持ちのExcelの表をホームページに載せたい、あるいはタグを書く手間を省きたいという人には重宝するだろう。(<http://www710.gsfc.nasa.gov/704/dgd/xl2html.html>)



	英語	国語	科学
太郎	44	82	55
花子	46	96	89

Excelで表にしたい部分を選び、メニューバーのスマイリーボタンを押すだけでHTMLファイルができる。テーブル対応のブラウザで開くと、ご覧のとおり

Webサイトの検索エンジンとして名高いYahooのホームページ (<http://www.yahoo.com/>)を見たことがあるだろうか。

文字中心のページだが、図のように2段組みで書かれている。確かHTMLは段組みをサポートしていないはずなのに…。ソースを見ればわかるのだが、実は、これはテーブルとリストを組み合わせているだけだ。2つのセルのテーブルの中にURLのリストが埋め込まれている。



表組みの実際

テーブルタグを使って実際に組んだ表が以下の図だ。HTMLと、その表示のされかたをよく見比べて、自分の作りたい表はどのように組めばいいかを理解してほしい。

表の各種パターン

The screenshot shows a Netscape browser window titled "Netscape: TABLE.HTML". It displays five different table examples, each with a corresponding HTML code block on the right. Red lines connect the examples to their code, and black circles with numbers 1 through 4 highlight specific features.

Example 1: 単純な表 (Simple Table)

A	B
1 セルA1	セルB1
2 セルA2	セルB2

Example 2: 罫線なし、表見出し使用 (No border, with caption)

A	B
1 セルA1	セルB1
2 セルA2	セルB2

Example 3: ROWSPANを使用 (Using ROWSPAN)

人々	男の子	太郎
	女の子	花子

Example 4: COLSPANを使用 (Using COLSPAN)

人々	
名前	太郎 花子

Example 5: ROWSPAN/COLSPAN/表見出し使用 (Using ROWSPAN, COLSPAN, and caption)

性別			
男	女		
年齢	20才未満	太郎	花子
	20才以上	次郎	京子

```
<CAPTION>単純な表</CAPTION>
<TABLE BORDER>
<TR><TD></TD><TD>A</TD><TD>B</TD></TR>
<TR>
<TD>1</TD><TD>セルA1</TD><TD>セルB1</TD></TR>
<TR>
<TD>2</TD><TD>セルA2</TD><TD>セルB2</TD>
</TR>
</TABLE><P>
```

```
<CAPTION>罫線なし、表見出し使用</CAPTION>
<TABLE>
<TR>
<TD></TD>
<TH>A</TH>
<TH>B</TH>
<TR>
<TH>1</TH>
<TD>セルA1</TD>
<TD>セルB1</TD>
</TR>
<TR>
<TH>2</TH>
<TD>セルA2</TD>
<TD>セルB2</TD>
</TR></TABLE><P>
```

```
<CAPTION>ROWSPANを使用</CAPTION>
<TABLE BORDER>
<TR>
<TD ROWSPAN=2>人々</TD>
<TD>男の子</TD>
<TD>太郎</TD>
</TR>
<TR>
<TD>女の子</TD>
<TD>花子</TD>
</TR>
</TABLE><P>
```

```
<CAPTION>COLSPANを使用<TABLE BORDER><TR>
<TD></TD>
<TD COLSPAN=2>人々</TD>
</TR>
<TR>
<TD>名前</TD>
<TD>太郎</TD>
<TD>花子</TD>
</TR>
</TABLE><P>
```

```
<CAPTION>ROWSPAN/COLSPAN/表見出し使用
</CAPTION>
<TABLE BORDER>
<TR>
<TD>
<TH ROWSPAN=2></TH>
<TH COLSPAN=2>性別</TH>
</TD>
</TR>
<TR>
<TD>
<TH>男</TH>
<TH>女</TH>
</TD>
</TR>
<TR>
<TH ROWSPAN=2>年齢</TH>
<TH>20才未満</TH>
<TD>太郎</TD>
<TD>花子</TD>
</TR>
<TR>
<TH>20才以上</TH>
<TD>次郎</TD>
<TD>京子</TD>
</TR>
</TABLE><P>
```



表の中身

表の内容は、基本的には「列」とその中にある「セル」を記述していくことで定義する。表の列は、

```
<TR> ~ </TR>
```

と定義し、表の内の1つのセルは、

```
<TD> ~ </TD>
```

と定義する。

<TR> タグの間に<TD> タグでセルをいくつか作って横1列分を表現する。<TD>は必ず<TR> タグの中になければならない。

① 表の題名を指定する

```
<CAPTION> ~ </CAPTION>
```

オプションをつけて<CAPTION ALIGN = TOP|BOTTOM >として、表の上下どちらに題名を表示するかを指定できる。

② 表に見出しをつける <TH>

表内に見出しとして文字を太くする場合に、<TD>の代わりにこれを使用する。文字が大きくなり、セルの中央合わせて表示される以外は、オプションの指定のしかたなどは<TD>と同様だ。

③ 列数分のセル <TD ROWSPAN=n>

```
<TD COLSPAN=n>
```

複数の列にわたるセルを作る場合には、<TD ROWSPAN=n> で行数を指定する。また2つ以上のセル(列)にわたるセルを作る場合には、<TD COLSPAN=n> で列数を指定する。

⑤ セル内の行揃え

```
<TR|TD ALIGN=LEFT|RIGHT|CENTER VALIGN=TOP|MIDDLE|BOTTOM>
```

セルの中で文字列を揃えるために、ALIGNまたはVALIGNのオプションを使用する。指定はどちらか一方でよい。列全部への指定ならば<TR>のオプションとして、あるセル単独で指定する場合は<TD>のオプションとして指定する。

⑥ セルの幅

```
<TD WIDTH=nin%>
```

セルの幅の指定の仕方、ピクセル数またはウィンドウの幅の何パーセントという方法で行う。

表の各種パターン

各部分の幅

セルA1	セルB1	セルC1
DセルA2	セルB2	セルC2

文字の位置揃え

	・ ・ 左 ・ ・	・ ・ 中央 ・ ・	・ ・ 右 ・ ・
上	上左	上中央	上右
中央	中央左	まん真ん中	中央右
下	下左	下中央	下右

表の幅の指定

Width=80 pixel	Width=50 pixel
-------------------	-------------------

```
<CAPTION>各部分の幅</CAPTION>
<TABLE BORDER=5 CELLPADDING=10
CELLSPACING=10>
<TR>
<TD>セルA1</TD>
<TD>セルB1</TD>
<TD>セルC1</TD>
</TR>
<TR>
<TD>セルA2</TD>
<TD>セルB2</TD>
<TD>セルC2</TD>
</TR></TABLE><P>

<CAPTION>文字の位置揃え</CAPTION>
<TABLE BORDER>
<TR>
<TD></TD>
<TH>・ ・ 左 ・ ・ </TH>
<TH>・ ・ 中央 ・ ・ </TH>
<TH>・ ・ 右 ・ ・ </TH>
</TR>
<TR VALIGN=top>
<TH>上<BR>・ </TH>
<TD>上左</TD>
<TD ALIGN=CENTER>上中央</TD>
<TD ALIGN=RIGHT>上右</TD>
</TR>
<TR VALIGN=center>
<TH>中央<BR>・ </TH>
<TD>中央左</TD>
<TD ALIGN=CENTER>まん真ん中</TD>
<TD ALIGN=RIGHT>中央右</TD>
</TR>
<TR VALIGN=bottom>
<TH>下<BR>・ </TH>
<TD>下左</TD>
<TD ALIGN=CENTER>下中央</TD>
<TD ALIGN=RIGHT>下右</TD>
</TR></TABLE></PRE><P>

<CAPTION>
表の幅の指定
</CAPTION>
<TABLE BORDER>
<TR>
<TD WIDTH=80>Width=80 pixel</TD>
<TD WIDTH=50>Width=50 pixel</TD>
</TR>
</TABLE>
```

6 ホームページに絵を入れよう

写真やイラストなどのグラフィックを使うと、Webの画面がぐんと華やかになる。実際、文字だけのホームページというものはほとんど見かけることがない。会社ならロゴや案内地図、個人では自分の写真やイラストなどを入れることもできる。

グラフィックの作成

ホームページに絵を入れるには、当然その絵はデジタルデータでなくてはならない。手持ちのグラフィックソフトで画像ファイルを作ってもいいし、スキャナーがあればそれで写真やイラストを読み込んで簡単にグラフィックデータが作れる。最近では低価格のデジタルカメラが出回っており、手軽にスナップ写真をコンピュータに取り込むことができようになっている。また、著作権フリーのイラストや写真を収録した素材集のCD-ROMを利用してもいいだろう。

いろいろな形式の画像ファイルをGIFフォーマットに変換

画像ファイルには各種のフォーマットがあるが、HTMLでサポートされているのはGIFと呼ばれる画像フォーマットだけだ

(NetscapeではJPEGフォーマットにも対応)。定番のグラフィックソフトともいえるAdobe Photoshopなら保存形式として「CompuServe GIF」が用意されているので問題ないが、GIFフォーマットをサポートしていないグラフィックソフトを使った場合やスキャナーで画像を読み込んだ場合は、いったんPICT、JPEG、TIFFなどのフォーマットで保存しておき、その後フォーマット変換ソフトを使うことになる。

Macintoshの場合は、「GIF Converter」や「Graphic Converter」(ともにftp://ftp.iij.ad.jp/pub/info-mac/gst/grf/で入手可能)などのシェアウェアを使うのがよい。Windowsの場合にはペインティングツール「PaintShop Pro」(ftp://oak.oakland.edu/SimTel.win3/graphics/psp30.zipで入手可能)がある。また、MS-DOSでは

「Image Alchemy」が70種類以上の画像フォーマットをサポートしていて、デモ版も配布されている。

データ量を抑える

GIFフォーマットへ変換するときに注意しなければならないのは、画像データの色数だ。色数が多いとデータ量も増え、ユーザーの環境によっては画像が正しく表示されなかったり、表示に時間がかかったり、さらにはデータそのものが読み込みできなかったりする。GIFフォーマットで使用できるのは256色のシステムカラーだが、ディスプレイで見ることを前提にした場合には、256色以下でも十分な場合が多い。また、画像のサイズもレイアウトを考えながら適当にリサイズする必要がある。

ホームページのためのヘルパーグッズ



フラットベッドスキャナー
ScanJet 3c

¥138,000 ヒューレット・パッカー(株) tel.03-3335-8333
高速なプレスキャンが自慢の解像度600dpiのスキャナー。スキャン専用ソフトウェアの「DeskScan」が付属する



デジタルスチルカメラ
QV-10

¥65,000 カシオ計算機(株) tel.03-3347-4811
190gと軽量で、ファインダーには小型のTFT液晶画面を使用。機動性を活かした屋外での撮影に最適



ダウンロード可能な各種アイコンの画像を収めたサイト
<http://sunsite.unc.edu/gio/ico/nbrowser/icons/>



素材CD-ROM、THE PROFESSIONAL PHOTOGRAPHY COLLECTION
《輸入CD-ROM》¥6,000



QCAM for Macintosh

¥23,800 (株)誠和システムズ
tel.03-5378-0445 Macintoshのモデムまたはプリンターポートにつなぐだけでビデオキャプチャーができる低価格のモノクロCCDカメラ



フィルムスキャナー
PHOTO VISION FV10

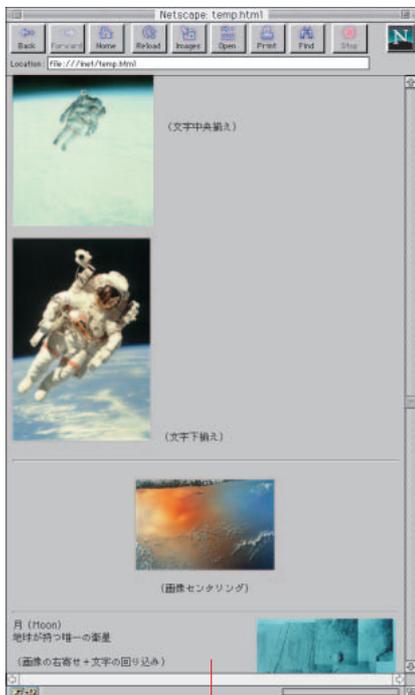
¥79,800 富士写真フィルム(株) tel.03-3406-2981
ネガフィルムやポジフィルム、プリントなどから画像を取り込むのに便利。AVパソコン以外はビデオキャプチャーボードが必要

画像・文字の配置とHTMLのソース



1

```
<IMG SRC="liftoff1.gif" > ( 無指定 ) <P>
<HR>
<IMG
SRC="http://www.impress.co.jp/img/inetm
ag.gif" > 他サイトからの画像 <P>
<HR>
<IMG SRC="spacewalk1.gif"
ALIGN=TOP> ( 文字上揃え ) <P>
```



2

```
<IMG SRC="spacewalk2.gif"
ALIGN=CENTER> ( 文字中央揃え ) <P>
<IMG SRC="spacewalk3.gif"
ALIGN=BOTTOM> ( 文字下揃え ) <P>
<HR>
<p align=center>
<IMG SRC="earth.gif"><BR><BR>
( 画像センタリング ) <BR>
</P>
```



3

```
<HR>
<IMG SRC="moon.gif" ALIGN=RIGHT>
月 ( Moon ) <BR>
地球が持つ唯一の衛星 <BR>
( 画像の右寄せ + 文字の回り込み ) <BR>
<BR>
<BR>
<BR>
<BR>
<BR>
<HR>
<IMG SRC="jupiter.gif" ALIGN=LEFT>
木星 ( Jupiter ) <BR>
太陽系で最大の惑星 <BR>
( 画像の左寄せ + 文字の回り込み ) <BR>
<BR>
<BR>
<BR>
<BR>
<BR>
<BR>
<BR>
<HR>
<PRE>
<IMG SRC="planets.gif"
ALIGN=CENTER> ( 画像と文字とのスペースを空ける ) <P>
</PRE>
```

グラフィックをホームページに
レイアウトする

できあがったGIFフォーマットのグラフィックデータをホームページに表示するためには、HTML中で挿入したい場所には、HTML中で挿入したい場所には、``と画像のファイル名を記述する。必要があればパスも含める。また、他サイトにある画像の場合には、URLも書いておく。

オプションで、同じ行にある文字をグラフィックの上部・中央・下部のいずれに合わせて表示するかを指定できる。

```
<IMG SRC="filename"
ALIGN=TOP|CENTER|BOTTOM>
```

Netscape では

```
<IMG SRC="filename"
ALIGN=LEFT|RIGHT>
```

でグラフィックの左寄せや右寄せも可能で、しかも複数行のテキストを回り込ませることもできる。また、テキストと画像の間にスペースをあけるには、

```
<IMG SRC="filename" VSPACE="n"
HSPACE="n">
```

で画像の縦横のスペースを指定できる。Netscape以外のブラウザならば、`<PRE>`タグで``とテキストを囲んでスペースを適当に入れればよい。

画像ロード中のイライラをやわらげる
インターレースGIF

大きな画像はロードすると時間が長くなるので、とくに遅いモデムを使っている場合はイライラする。そこで登場したのが、「初め粗く、後で細かく」表示する「インターレース」という方法だ。決してロードの時間が短くなるわけではないが、「イライラ」を多少やわらげるといことで、今では多くのサイトで使われるようになった。ただし、今のところインターレースに対応しているブラウザはNetscapeのみ。

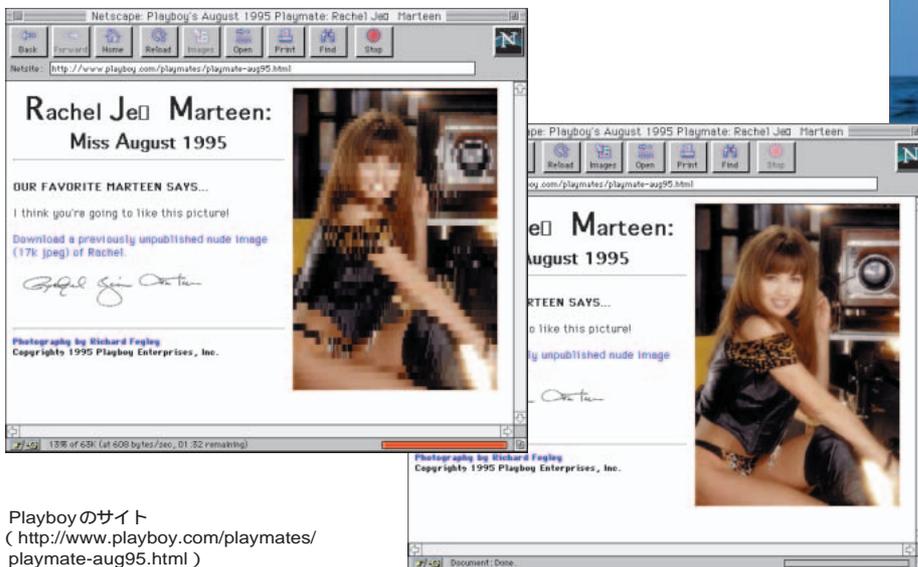
先に紹介したGIF ConverterやGraphic Converter、Paint Shop Proなどのソフトを使うと、通常のGIFフォーマットファイルからインターレースGIFフォーマットのファイルを作成することができる。操作はいずれもファイルのセーブ時にフォーマットを指定するだけだ。ただ、何でもかんでもインターレースにするのは、かえって逆効果。目的によって使い分けるようにしよう。

Transparencyを使った切り抜き前と切り抜き後の画像

アンチエイリアスをきかせた画像を使用する場合、背景色に近い色を画像の周りにつけておくと切り抜きが滑らかに見える

インターレース画像の表示

① インターレースGIFファイル読み込み中



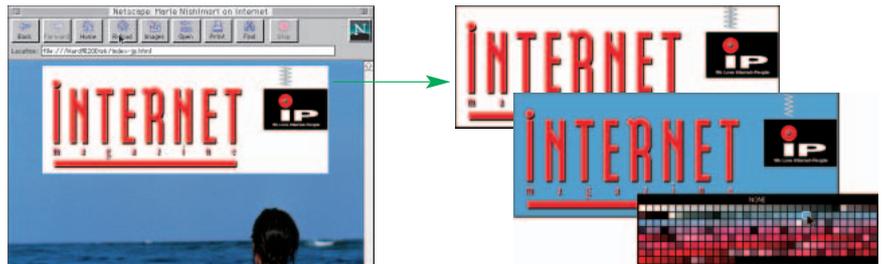
Playboyのサイト
(<http://www.playboy.com/playmates/playmate-aug95.html>)

GIFの透明化で写真やイラストを
「切り抜き」にする

Netscape ではバックグラウンドに色や画像を敷くことができるようになった(「7. バックグラウンドとカラーでCOOLに決める」参照)。そこでよく使われるようになったのが、画像の背景を消す「切り抜き」のテクニックだ。たとえば人物の背景に使っている色を透明色に指定すれば、背景が消えてバックグラウンドの色や画像が見えるようになる。GIF89という規格には指定した1色を透明化するという機能があり、これを使うことでその効果が出せる。

Macintosh では、先に紹介したGraphic Converterのほかに「Transparency」(<ftp://ftp.ij.ad.jp/pub/info-mac/gst/grf/> で入手可能) というフリーウェアでGIFの透明化ができる。また、GIFを透明化するPhotoshopのプラグインがAXESのサーバー(<http://axesgw.axes.co.jp/hisashin/lib/PhotoGIF1.0b6.html>) から入手可能だ。Windowsの場合は「LView Pro」(<ftp://oak.oakland.edu/SimTel/win3/graphics/lviewplb.zip> で入手可能) というシェアウェアがあるので、これを使うとよいだろう。

切り抜きに見せたい画像の地の部分を、表示時の背景色に近い色にしておく



透明化したい色をパレットから選ぶ



② インターレースGIFファイル読み込み終了



7 バックグラウンドとカラーでCOOLに決める

Netscape 1.1 ではいくつかのHTML 3.0仕様のタグをサポートするようになった。その一つがバックグラウンドとフォアグラウンドを指定するものだ。Web ページはこれで表現力をかなり増したといえる。

バックグラウンドは<BODY>タグのオプションとして指定する。一度の指定でそのHTMLのページ全体に影響する。したがって、ページのある部分を別の色で指定するというようなことはできない。なお、バックグラウンドはNetscape 1.1からサポートされたものなので、それ以外のWWWブラウザではこれらはすべて無視される。

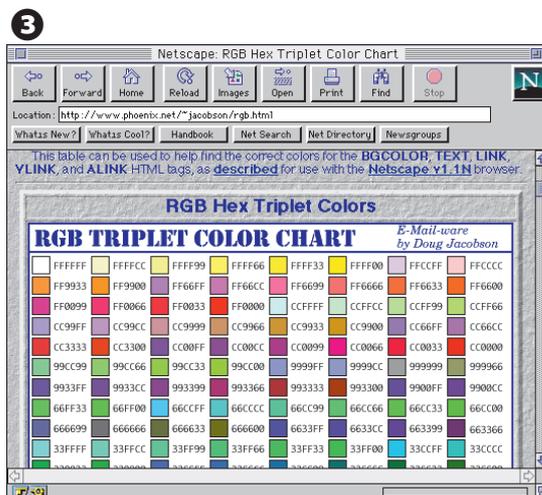
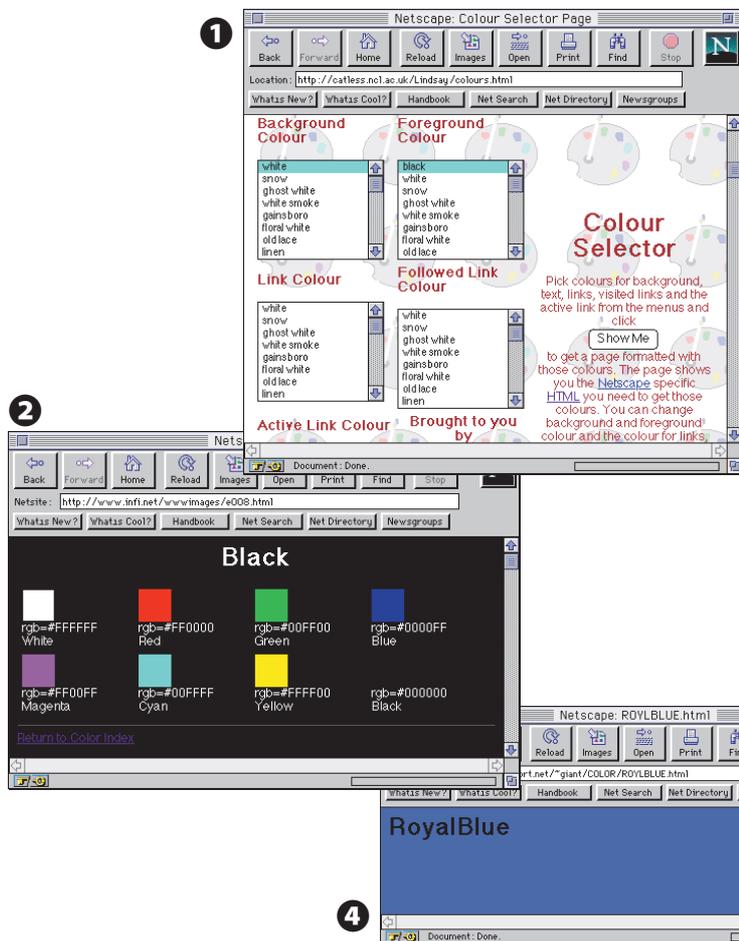
背景の色を変える

バックグラウンドカラー 

<BODY BGCOLOR="#\$\$\$\$">

バックグラウンドの色を指定するオプション。コンピュータで扱われる色は24ビットカラーのRGBのそれぞれを0から255までの数値（十進法表記）で表現する。白はRGB=255、255、

255、黒はRGB=0、0、0。その他のすべての色はこの中間の数値の組み合わせだ。「\$」はこれを2桁の16進数に変換した数値を表している。実際にこの数値を得るために、私はAdobe Photoshopを使っている。自分の使いたい色を選び、その色のRGB数値を調べてメモし、それを16進数に変換する。私はイタリアのAlessandro Levi Montalciniという学生が作ったCalConvert (ftp://ftp.alpcom.it/software/mac/LMontalcini) というフリーウェアの計算機を使っている。



色の指定をもっと楽にしたいという人は

- ① Color Selector
(<http://catless.ncl.ac.uk/Lindsay/colours.html>)
 - ② InfiNetの Background Colors (<http://www.infinet/wwwimages/colorindex.html>)
 - ③ RGB Triplet Color Chart
(<http://www.phoenix.net/jacobson/rgb.html>)
 - ④ The Color Specifier For Netscape 1.1
(http://www.interport.net/giant/COLOR/hype_color.html)
- などをリファレンスとして使うといいだろう。

背景に画像を貼る

テキストチャー

<BODY BACKGROUND="URL">

これはバックグラウンドにテキストチャーを使うためのオプション。あまり大きな画像を使うとユーザーにダウンロードの時間を強いることになるので注意する。ただし、あまり小さな画像でも不具合が起きるようだ。たとえば32×32ピクセルの画像はうまく表示することができないようだ。64×64ピクセル以上のものが適当だと思われる。Netscape 1.1で利用できるインラインイメージの画像フォーマット、すなわちGIFとJPEGを使用できる。この画像のためのURLはタグなどのためのURLとまったく同様を使う。そのHTMLファイルを置いてあるディレクトリでも他のディレクトリでも、あるいはまったく別のサイトでも、そこにある画像を指定することができる。Netscape Communications社では使用自由のテキストチャーを用意して、自社のサイトにリンクを張れるようにしている。

文字の色を変える

文字カラー

<BODY TEXT="#\$\$\$\$">

指定したバックグラウンドカラーやテキストチャーによっては、文字色がデフォルトの黒では読みにくいという不具合も考えられる。こんなときにフォアグラウンドの文字の色を指定するのがこのオプションだ。色の指定はバックグラウンドカラーの指定と同様にRGBの16進数表記で行う。

リンクカラー

<BODY LINK="#\$\$\$\$">

リンクを張ってある文字の色を指定するオプション。まだ一度も行ったことのないHTMLなどへのリンクにはこの色が使われる。

ビジットドリンクカラー

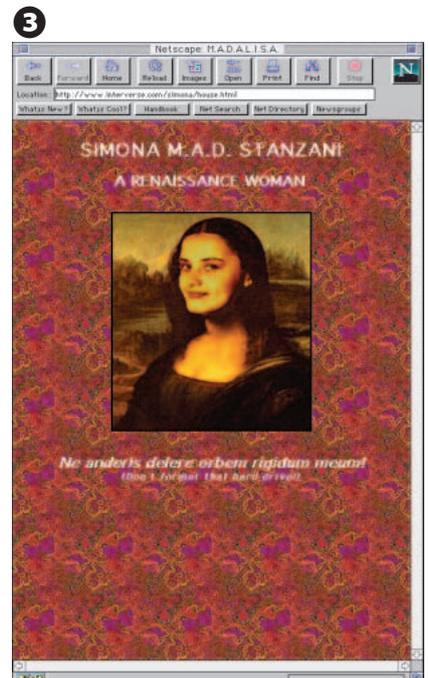
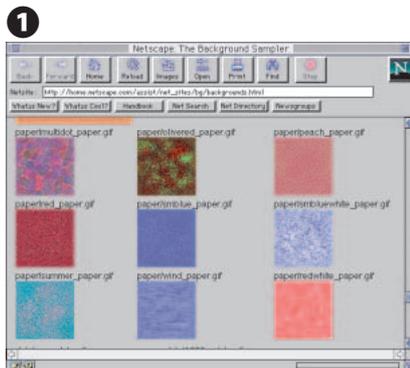
<BODY VLINK="#\$\$\$\$">

すでに行ったことのあるリンクに使われる色を指定するオプション。どれだけの期間、既訪 (visited) だと認識しているかは、各ブラウザの設定による。

アクティブリンク

<BODY ALINK="#\$\$\$\$">

現在アクティブなリンクについて、文字色を指定する。マウスでリンクが張ってあるポインタをクリックしたとき、この色にフラッシュする。



- 1 Netscape社の提供しているバックグラウンド画像
(http://home.netscape.com/assist/net_sites/bg/backgrounds.html)
- 2 前面の文字が多いときは読みやすさも考慮してバックグラウンドを決める
(<http://www.contrib.andrew.cmu.edu/usr/rd3k/family.html>)
- 3 前面の画像に合わせて壁紙のようにテキストチャーを使うと効果的
(<http://www.interverse.com/simona/house.html>)

8 ハイパーリンクの世界へ

さて、ここまではページの見栄えをよくする方法だったが、これからがHTMLの本領、ハイパーテキストを形作る「ハイパーリンク」の方法だ。



他のページへのリンク

リンクを張るには、まず当然のことながら「どこから」「どこへ」がはっきりしている必要がある。

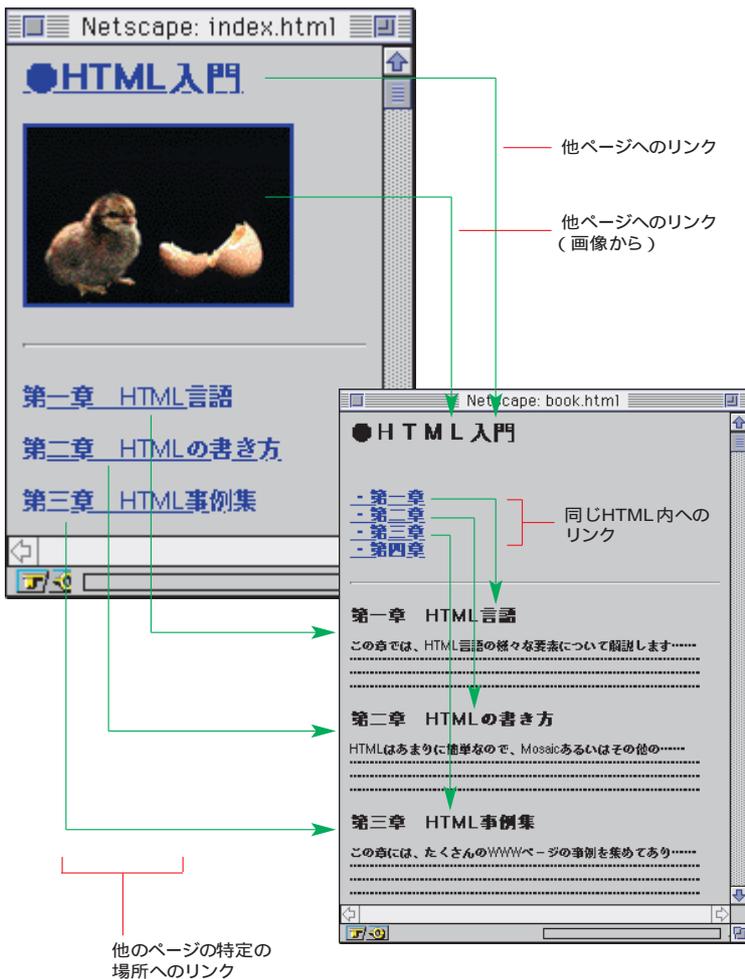
あなたが作るページの文章の一部や単語

など、リンク先をユーザーに示す部分を<A HREF>タグで囲む。それによってリンクのスタート地点を指定することになる。指定された部分はご存じのとおり通常は青い文字になり、下線が引かれる（ブラウザや

その設定、ページの色指定によっては異なる表示の仕方がされる）。

「どこへ」の指定は目的とするリンク先ページのURLを指定する。

```
<A HREF="URL"> ~ </A>
```



```
<H2>
<A HREF="http://www.impress.co.jp/book.html">
  HTML入門</A>
</H2>
<P>
<A HREF="http://www.impress.co.jp/book.html">
<IMG SRC="introduction.gif" ALIGN=CENTER></A><P>
<HR><BR>
<A HREF="http://www.impress.co.jp/book.html#chapter1"> 第
第一章 HTML言語</A><P>
<A HREF="http://www.impress.co.jp/book.html#chapter2"> 第
第二章 HTMLの書き方</A><P>
<A HREF="http://www.impress.co.jp/book.html#chapter3"> 第
第三章 HTML事例集</A><P>
```

```
<H2>
  HTML入門
</H2>
<PRE>
<H3>
<A HREF="#chapter1">・第一章</A>
<A HREF="#chapter2">・第二章</A>
<A HREF="#chapter3">・第三章</A>
<A HREF="#chapter4">・第四章</A>

<HR>
<A NAME="chapter1">第一章 HTML言語</A>
</H3>
この章では、HTML言語の様々な要素について解説します.....
.....

<H3>
<A NAME="chapter2">第二章 HTMLの書き方</A>
</H3>
HTMLはあまりに簡単なので、Mosaicあるいはその他の.....
.....

<H3>
<A NAME="chapter3">第三章 HTML事例集</A>
</H3>
この章には、たくさんのWWWページの事例を集めてあり.....
.....
</PRE>
```

たとえばインプレス社のホームページにリンクを張るのであれば、URLは「http://www.impress.co.jp/」となる。

したがって、リンクは次のように記述することになる。

```
<A HREF="http://www.impress.co.jp">インプレス社ホームページ</A>へ
```

このHTMLをブラウザで見ると「インプレス社ホームページ」の部分が青く下線の引かれた状態になっていて、そこをクリックすればリンク先に飛ぶ。また、画像をクリックしてリンクさせる場合はでgif ファイルを指定する。

```
<A HREF="URL"><IMG SRC="filename">~</A>
```

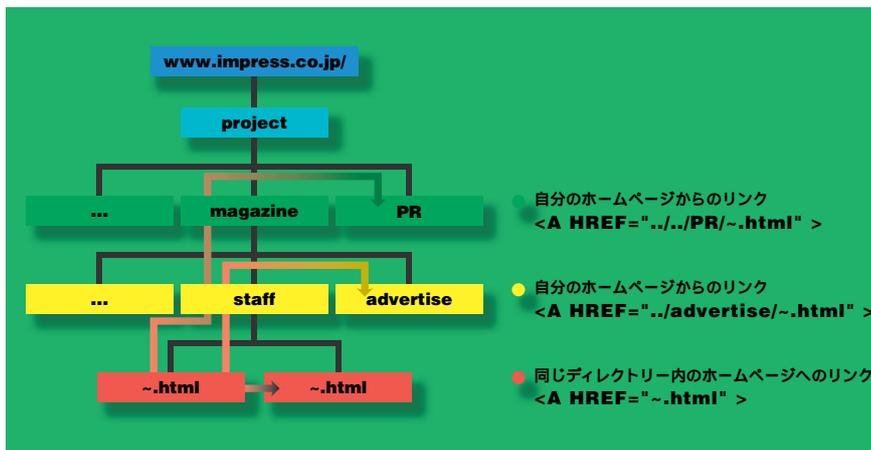
同じHTML内へのリンク

1つのHTMLが比較的に長い場合、一番上に目次を作っておくという方法がよくとられる。これは同一HTMLファイル内へのリンクである。

ファイル内へのリンクであるから、そのリンク先「どこへ」を明確にしなければならない。ファイル名のURLだけではファイル内の場所は指定できない。

そのため、リンク先となる場所には、それを示す<A NAME>タグを埋め込む。このタグではリンク先の場所に好きな名前をつける。

同一サーバー内のリンク例



```
<A NAME="chapter1">第一章 HTML 言語</A>
```

という具合だ。

目次部分では、他のページへのリンクのときと同様、クリックする文字列を<A HREF>タグで囲む。そしてURLを書き代わりに、<A NAME>でつけた名前を「#」に続けて書く。

```
<A HREF="#chapter1">第一章 HTML 言語</A>
```

こうしておくことで、この目次部分をクリックすると、ページをスクロールすることなく一気にこの項目にジャンプすることができる。

他のページの特定の場所へのリンク

上記2種類のリンク方法を組み合わせて、他のHTMLファイル内で<A NAME>タグが設定してあるところにリンクを張ることが可能だ。

```
<A HREF="http://www.impress.co.jp/book.html#chapter1">第一章 HTML 言語</A>
```

のように書けば、目次の「第一章 HTML 言語」をクリックすることで、他のサイトにあるページの「第一章 HTML 言語」の項目を表示させることができる。

同じサーバー内でのリンク

同じサーバー内にあるファイルにリンク

を張る場合は、すべてのURLを記述する必要はなく、ディレクトリ構造に基づいた相対パスを指定してやるだけでよい(下図参照)

他サイトへのリンクを簡単に作る

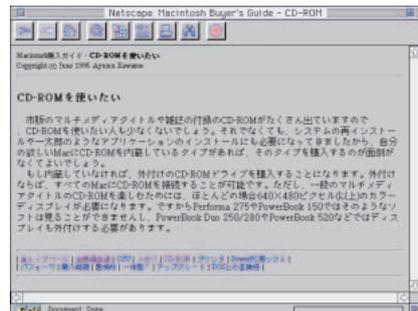
ネットサーフィンをしていると、自分のお気に入りのWebサイトを紹介し、そこにリンクを張っているホームページが多いことに気づく。自分の趣味を紹介するのと同じで、好きなホームページの紹介からそのホームページオーナーの性格や人柄が推察される。ただし、URLのリストを作っているのはかなり面倒な作業である。

もし、あなたが最新版のNetscapeを使っていて、BookmarksでURLを整理しているならば話は別だ。NetscapeのBookmarksには、これまで集めたURLのリストをHTML形式で出力してくれる機能がある。これをそのまま自分の「What's Cool」ページにしまえばよいわけだ。

Tips 5

各ページに目次を

目次の項目の数が少なければ、目次だけのページを作るだけでなく、各ページにその目次自体を置いてしまうという手がある。このようにすると、どのページを見てもワンクリックで他のページに飛べるし、全体の量と、まだ見ていないページも一目瞭然だ。



目次を各ページに置いている例



9 見に来てくれた人とのコミュニケーション

ホームページで情報を発信するということは、不特定多数の人に見てもらえるチャンスがあるということだ。自分のホームページに対する感想や貴重な意見を送ってもらおう。

メールをもらいやすくする

自分の作成したページやその内容についてのコメントを読んだ人からもらうには、たいてい電子メールを使うことになる。

メールをもらうために読み手がわざわざメールのためのアプリケーションを自分で立ち上げなくてもよいように、mailto というタグが用意されている。

リンクを張る HREF タグを使って、

```
<A HREF="mailto:name@address">
name宛メール</A>
```

のように書く。こうしておくで、「name宛メール」のところが一般のリンクと同様に色が変わり、クリックできるようになる。クリックするとメールを書くためのウィンドウが出て、すぐにメールを書ける状態になる。メールにはすでに宛先が入っているので、タイトル (subject) と本文を書けばよい。ブラウザによっては、メールのウィンドウが

出るのではなく、指定したメールアプリケーションを自動起動する場合もある。

ホームページでアンケート

メールよりもさらに読み手が反応を返しやすい方法は、入力フォームを使うことだ。項目ごとに答えていけばいいアンケート用紙的なものを用意しておけば、読み手も答えやすい。

入力フォームは、いくつかの種類が用意されている。

まずフォームを定義する

フォームは次のように FORM タグで囲まれた部分で定義する。

```
<FORM ACTION="URL"
METHOD=GET|POST> ~ </FORM>
```

入力フィールドを作る

① 一般的な文字入力フィールド

```
<INPUT NAME="name" SIZE=n
MAXLENGTH=n>
```

フィールドに名前をつけて、このタグを書けば1行分のフィールドが作られる。SIZE=n でフィールドの長さを指定する。MAXLENGTH=n は入力できる最大文字数を指定する。SIZE=n と MAXLENGTH=n の部分は省略できる。

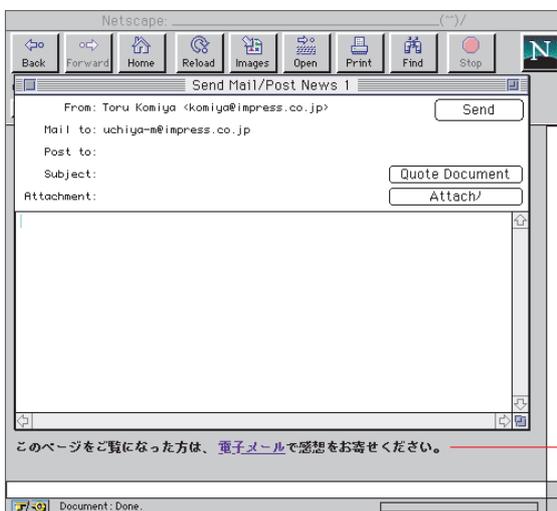
② スクロール可能な文字ボックスフィールド

```
<TEXTAREA NAME="name" ROWS=n
COLS=n> ~ </TEXTAREA>
```

ボックスフィールドに名前をつけ、ROWS で行数を、COLS で幅 (1行の文字数) を指定する。~の部分に文字列を入れておくと、ボックスフィールドに前もってその文字列が表示される。通常は何も入れておかなくてよいだろう。

③ ボタンによる選択

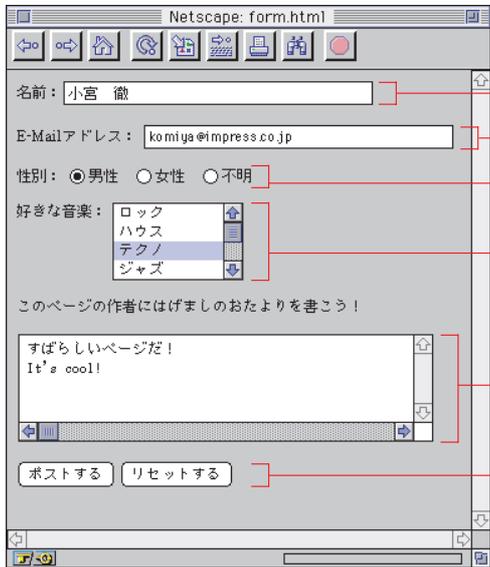
```
<INPUT NAME="name"
TYPE="RADIO|CHECKBOX"
VALUE="value">
```



mailto タグで指定したリンクをクリックすると、メールソフトが起動する

このページをご覧になった方は、

 電子メール
 で感想をお寄せください。



```

<form method="POST" action="mailto:komiya@impress.co.jp">
  名前 : <INPUT NAME="Name" SIZE=40 MAXLENGTH=40>
  <P>
  E-Mail アドレス :
  <INPUT NAME="E-Mail" SIZE=40,3>
  <P>
  性別 :
  <INPUT TYPE=RADIO NAME="sex" VALUE="male" CHECKED> 男性
  <INPUT TYPE=RADIO NAME="sex" VALUE="Female"> 女性
  <INPUT TYPE=RADIO NAME="sex" VALUE="unknown"> 不明
  <P>
  好きな音楽 :
  <SELECT NAME="music" SIZE=4 MULTIPLE>
  <OPTION> ロック
  <OPTION> ハウス
  <OPTION> テクノ
  <OPTION> ジャズ
  <OPTION> ポップス
  <OPTION> 歌謡曲 / J-POP
  <OPTION> 演歌
  <OPTION> クラシック
  </SELECT>
  <P>
  このページにはげましのおたよ리를書こう !
  <TEXTAREA NAME="comment" ROWS=4 COLS=50> すばらしいページだ !
  </TEXTAREA>
  <P>
  <input type=submit value="ポストする"> <input type=reset value="リセットする">
</form>

```

ラジオボタン、またはチェックボックスで回答を
してもらう方法は、もっともユーザーに負担が
かからない質問方法だ。

ラジオボタンは複数の選択肢からただ1つを選
ぶ場合に使い、チェックボックスは必ずしも回答
が1つとは限らない場合に使う。1つの質問への
回答群は、それらのNAMEを同じものにして、
VALUEにボタンの意味する内容を記述してお
く。

オプションとしてCHECKEDを付加して

```

<INPUT NAME="name"
  TYPE="CHECKBOX" CHECKED>

```

のように書くと、すでにボタンがチェックされ
た形で表示される。ラジオボタンで選択肢を選
ばせる場合には、選択肢のうちの1つを
CHECKEDしておくべきだろう。

④ リストからの選択

```

<SELECT NAME="name"
  SIZE=n><OPTION></SELECT>

```

いくつかの選択肢のリストから選ばせる方法。
数値の指定が1だとポップアップメニューによ
る選択になり、2以上だとその数の行数分のリ

ストが表示され、そこから選ぶ形になる。SIZE
を省略すると選択肢の数に合わせてリストの大
きさが変化する。

また<SELECT NAME="name" MULTIPLE>
のようにMULTIPLEを追加すると、選択肢か
ら選べる項目は複数となる。MULTIPLEの場
合にはポップアップメニューは使えない。

用意する選択肢は<OPTION>の後ろに続けて
記述する。選択肢の数だけ<OPTION>が存在
することになる。

<OPTION SELECTED>とすると、この選択
肢がすでに選択された形で表示される。

⑤ 送付 / キャンセルボタン

```

<INPUT TYPE="SUBMIT"RESET
  VALUE="name">

```

以上の入力を送付するためのボタンがないと、
最終的に結果を送ることができないので、これ
を作るのを忘れてはいけない。送付するための
ボタンは、TYPEをSUBMITと記述する。

また、すべての入力を初期状態に戻すボタンは
TYPEをRESETとして作る。
VALUEはボタンに書かれるボタンの名前だ。

回答はメールで受け取れる

問題はこのフォームに入力してくれた内容
を受け取る方法だ。

一般的には、サーバー側に受け取るため
のプログラムを置いておく必要がある。し
かしダイアログアップでプロバイダーにアクセ
スしてページを作成しているような普通の
ユーザーは、このようなプログラムをサー
バーに置くことは難しい。

ただし、入力された内容をメールにして
送る方法があり、これならば普通のユー
ザーでもメールを受け取ることができさ
えすれば、フォームでの情報受信が可能
になる。

メールでフォームの情報を受信する場
合には、このFORMタグで

```

<FORM
  ACTION="mailto:name@address"
  METHOD="POST">

```

のように記述する。URLの部分で、mailto:
に続けて自分のメールアドレスを書く。

さて、このようにして作ったフォームに
読み手が入力して送付してくれた内容はメ
ールで送られてくるわけだが、これは書き

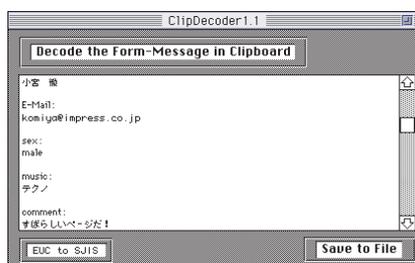
込まれたものがそのまま送られてくるわけではない。書き込まれた内容が入力フィールドなどの名前とともに、URLという形式になって送られてくる。たとえば図で入力された内容がメールで送られてきた結果は、

```
Name=%8F%AC%8B%7B%81@%93O&
E-mail=komiya@impress.co.jp&sex=
male&music=%83e%83N%83m&comme
nt=%82%B7%82%CE%82%E7%82%B5
%82%A2%83y%81%5B%83W%82%BE
%81I%0D%0AIt%27s+cool%21
```

のようなものだ。基本的には各項目の名前の後に回答があり、項目間を&でつないだものなのだが、スペースや記号、漢字の部分がコードに変換されているので、このままでは内容がよくわからない。

この形式のデータを普通の読める形のデータにするためのツールとして、Macintoshでは田中求之氏のスタック「ClipDecoder」がある。

フォーム結果をメールで受け取る方法について紹介している田中氏のページ (<http://mtlab.ecn.fpu.ac.jp/provHome.html>) で、このスタックを入手できる。田中さん、ありがとう。



フォームの内容はClipDecoderで簡単に変換できる



NRI Cyber Business Park (<http://www.cyber-bp.or.jp/business/NSC/regist.html>) の会員登録のページ

拍手をもらおう

フォームからメールをもらう方法を利用することで、単にメールを出してもらいよりもずっと読み手側の負担が少なくなり、したがってコメントや反応をもらいやすくなる。ここであげた例のようなアンケートもいいが、もっと気軽に、単純に反応をもらおうとしたら……。

誰かの作品や行為に対して「面白い!」とか「すごい!」「すばらしい!」と思ったとき、人は拍手をする。思わず手を打つというこの行動



をフォームに反映させるには、入力するかボタンを選ぶとかをせずに、ワンクリックでやりたいとおおっと思った瞬間にクリック。

そこで図のような簡単なHTMLを作ってみた。ラジオボタンがなくてもメールは発信されるが、その代わりに中身の何もないメールになる。メールのヘッダーを見ればどこから誰が出したかはだいたいわかるので、自分のホームページに1つだけつけるのであれば、それでもいいだろう。メールの内容で他のメールと区別するためには、

どうしても「入力された」ものが必要なので、ラジオボタンをつけた。この場合、メールの本文には「GREAT=on」とだけ入って送られてくる。項目が1つだけで、しかもアルファベットなのでURL形式で受け取っても内容が簡単にわかるのがミソ。ラジオボタンにしたのは内容を変更できない(しなくていい)からだ。

もちろん、拍手でなくプーイングボタンにしてもいいだろう。このようなボタンを反応のほしいページの一番下などに入れておくのだ。ともかくユーザーに選択の余地をほとんど与え

ない(押すか押さないかだけ)ことによって反応を促すのがこのHTMLの目的だ。

```
<FORM METHOD="POST"
ACTION="mailto:komiya@impress.co.jp">
<INPUT TYPE="RADIO" NAME="GREAT"
CHECKED>
<INPUT TYPE="SUBMIT" VALUE="拍手!">
</FORM>
```

Tips 6

Netscape以外の対処法

メールで結果を送る方法は、Mosaicなどいくつかのブラウザでは使えない。入力した結果をメールで送るのでなく、メール入力ウィンドウが開いてしまったりする。

すべてのブラウザに対応するには、サーバーのディレクトリでSSI (Server Side Includes) という機能を使う必要がある。ここでは詳述しないが<http://www.st.rim.or.jp:80/eyez/httpd/index.html>にこの方法の具体的な解説がある。

❗「COOLなホームページの作り方」第1部はここまで。第2部では完成したホームページを実際にプロバイダーのサーバーから発信する方法を実践的に解説する。なお、来月号の特集では、ホームページで音声と動画を扱うためのテクニックを紹介する「COOLなホームページの作り方2 - マルチメディア編」を掲載する予定である。

特集: COOL なホームページの作り方

第2部

【実践編】ホームページを立ち上げよう

編集部



ホームページを立ち上げるには？

ネットサーフィンをしているだけの人の中には、世界に向けて情報を発信することは自分の手には負えないことと思っている人が結構多いようだが、これまで解説してきたように、実際にHTMLのコーディングをするのは、じつはそんなに難しくはない。

ということで、ここではHTMLでのコーディングが終わったあと、実際にWWWホームページを立ち上げる方法を紹介する。



プロバイダーの ホームページ設置サービスを利用しよう

WWWホームページを立ち上げたくても、個人にとっては専用線と専用のサーバーは高嶺の花だ。費用もさることながら、サーバーを設置したりメンテナンスしたりするのはかなり高度の技術が要求されるし、それにかかる時間もけっこうなものになる。

そこで手軽になるべく苦労しないでサーバーを立ち上げたいという人におすすめなのが、プロバイダーが提供しているホームページ設置サービスの利用だ。最近ではそのようなサービスを提供するところも増えたので選択の幅も広がった。ホームページを置くためのディスクスペースに制限はあるものの、個人の場合は追加料金なしというプロバイダーも多くあるので、その気になればけっこう簡単に自分のホームページを持つことができる。

プロバイダーによって異なる ホームページのサービス内容と利用料金

まず、「ホームページ設置サービスを提供しているプロバイダー一覧」を見てみよう。個人の場合には通常の会費以外は不要というところがかかなりある一方で、ディスクスペース使用料をとるプロバイダーもいくつかある。無料の場合は使用できるディスクスペースは2～5Mバイト程度に制限されているが、画像や動画、音声などのファイルを多く置くのでなければこのサイズで十分だろう。

料金のほかに検討しなくてはいけないのが「設置方法」だ。大きく分けると、

- (1) データファイルをプロバイダーに渡し、設置はプロバイダー側とするタイプ
- (2) 決められた場所に自分でファイルを転送し、設置はプロバイダー側とするタイプ

イブ

- (3) すべての作業を自分でやり、プロバイダーは一切手助けしないタイプ

の3つに分類される。技術的には、(1)がもっとも簡単で、HTMLが書ければあとはほとんど問題ないが、プロバイダーの管理者の手をわずらわせるのでアップロードのたびに料金がかかたりする。(2)ではFTPでのファイル転送ができる必要がある。(3)になると、さらにUNIXの操作の知識などがすこし必要になる。自分の力量を見極めて、どのタイプが適しているかを判断しよう。

また、もしできるなら、多くのホームページが置かれているプロバイダーを選ぶようにしよう。そういうプロバイダーではユーザー同士がBBSやメーリングリストで情報交換をしていたりして、ホームページを立ち上げるときにはけっこう役にたつものだ。

ホームページ設置サービスを提供しているプロバイダー一覧

プロバイダー名	費用	ファイルサイズの制限	設定方法	ホームページを設けている会員数	会員へのリンクページ	問い合わせ先 メールアドレス 電話番号	作成代行サービス 商利用	備考
ASAHI-ネット	個人 通常の会費以外は不要	5MBまで	ASAHIネットの専用メニューで設定	50件	http://asahi-net.or.jp/ /an.lib/userhomeindex-j.html	(会議室)ASAHIネット内の「チャレンジ・ザ・HTML」	○	
	法人 月額利用料金 ¥30,000	10MBまで、 増設は10MB単位	非公開専用会議室、メール、MOなど	24社	http://mmjp.or.jp/index.html	(mail) ap-net@asahi-net.or.jp	○	法人・団体のホームページは、専任のスタッフが制作
-Web	個人 月額利用料金 ¥100,000/100MB 増設費用¥10,000/10MB	100MBから、 増設は10MB単位	データをもらい大塚商会でディスクにおとす	現在関連組織のみ	http://www.alpha-web.or.jp/	(mail) www-admin@alpha-web.or.jp	○	ビジネスモールという仮想的なショッピングモールにホームページを開設
	法人						○	
インターネットWIN	個人 通常の会費以外は不要 (ダイヤルアップ接続のみの会員は手数料¥2,060)	7MBまで	作成したファイルをWWW用ディレクトリに転送する	20件(WINのホームページにリンクしているもの)	http://www.win.or.jp/	(mail) homepage@super.win.or.jp	○	個人会員のホームページアクセス頻度レポートサービス有り
	法人 登録料金 ¥300,000 月額利用料金 ¥80,000	100MBから、 増設は10MB単位	リンクを張る場合はメールで登録用紙を送る	10社		(mail) win-www@super.win.or.jp	○	ページ単位の利用、ショッピングモールのテナントサービスもある
リムネット	個人 登録料¥10,000 月額利用料金 ¥1,000 非商用は通常の会費以外は不要	3MB	自分のディレクトリにFTPで	1200名以上 (商用は約10名)	http://www.rim.or.jp/	(mail) pr@rim.or.jp	○	個人の場合は有料で20MBまで拡張可能
	法人 登録料¥10,000 月額利用料金 ¥30,000 増設費用(月額) ¥5,000/10MB	50MBから	ディスク渡し、FTPなど	約10社			○	
JETON	個人 通常の会費込み¥10,000 (商用禁止)	2MBまで	ファイルを自分のホームページディレクトリにFTPなどでコピーし、登録する	36件	http://www.jeton.or.jp/	(mail) support@jeton.or.jp	○	
	法人 登録料¥10,000 掲載料金 ¥30,000	10MBまで拡張可能					○	
インターネット 互助会横浜IMASY	個人 通常の会費以外は不要	5MBまで (予定)	各自shellにloginして設定する	30名	http://www.imasy.or.jp/	(mail) info@imasy.or.jp (faqの自動メーリングリスト) get-faq@imasy.or.jp	○	応相談
インターネット ワーク京都	個人 通常の会費以外は不要	500KBまで	申し込みはメール、データはFTPで転送する	約35件 (登録のみでは80件)	http://web.kyoto-net.or.jp/ /people.html	(mail) query@kyoto-net.or.jp	×	
	法人 月額利用料金 ¥1,000	なし					○	
インターネット フューチャー	個人 通常の年会費以外不要	5MB (検討中)	最低限のルール(ディレクトリ、ファイル名など)に従い、FTPで転送		http://www.ifnet.or.jp/	(mail) staff@ifnet.or.jp	○	8月よりサービス開始予定
NewCOARA	個人 通常の会費以外は不要 「一村一品Virtual Shop」のコーナーでは月々¥500プラス	特になし (検討中)	通常のホームページは各自がファイルを作成した後、メールで担当者に連絡する。「一村一品Virtual Shop」は事務局と相談して登録	約70件	http://www.coara.or.jp/	(mail) tooru@fat.coara.or.jp (会議室)「unix会議室」 telnet coara.or.jp	○	今秋には250GBの大容量サーバーを設置予定。回線速度も768Kbps以上にグレードアップする予定
	法人						○	
netSpace	個人 初期費用 ¥100,000 基本料金(月額) ¥100,000/100MB 増設費用(月額) ¥10,000/10MB データ更新費用 ¥50,000/回	特になし	FTPまたはフロッピーディスクで	数件	http://www.space.ad.jp/ (対応中)	(mail) info@space.ad.jp	○	ページ単位の利用、ショッピングモールのテナントのサービスもある
BEKKOAME	個人 通常の会費以外は不要	5MBまで	①データを圧縮、テキスト化した後、使用機種名、ツール名、ディレクトリ構造の説明をつけてメールで送る ②FTPにHTMLファイルを置き、準備ができたならメールで連絡	460名以上	http://www.bekkoame.or.jp/	(mail) www@bekkoame.or.jp (news) bekkoame.personal-www	○	1ページ ¥20,000より
	法人						○	
InfoSphere	個人 加入費用 ¥20,000 月額利用料金 ¥10,000/10MB 増設費用 ¥10,000/10MB	10MBが基本。 以降、10MB単位で増設(最大100MBまで)	指定サイトへFTPで転送。FD、DAT、CMT等の郵送も(手数料¥3,000)	7件	http://www.sphere.ad.jp/ you/you.html	(mail) info@sphere.or.jp	○	個人ユーザーの非営利目的のホームページを無料で預かる試行サービスを実施中。レポートサービス(有料: ¥10,000)も用意
C&Cインターネット サービスmesh	個人 個別見積り	50MBが基本。 以降、10MB単位で増設可能	ユーザーによって異なる	12法人	http://www.meshnet.or.jp/	(mail) info@mesh.ad.jp	○	仮想電子広場として「The Cyber Plaza」を開設。登録は個別に対応している
	法人						○	
グローバル オンライン ジャパン	個人 初期費用 ¥200,000 ディスク占有料金 ~ ¥500/1MB 月額基本料金 ¥25,000 ディスク使用料 ~ ¥100/1MB データ超過料金 ~ ¥150/1MB データ更新料金 ¥5,000/1回	4MBまで	ファイルをFTPでサーバーに転送する	50件 (予定含む)	http://www.gol.com/	(mail) sales@gol.com (news) gol.general@gol.internet	○	ユーザー専用サーバー(GOL内、ユーザー内)の構築サービスもある
	法人	特になし	①ファイルをFTPでサーバーに転送する ②作成したファイルの設定をメールなどで担当者に依頼(有料)	10社 (予定含む)			○	
TWICS	個人 通常の会費以外は不要	5MBまで	ファイルを自分のWWW用ディレクトリに転送する	約100件	(個人用) http://www.twics.com/www/ twics/members.html (提供サービス紹介) http://www.twics.com/www/ twics/services.html	(mail) help@twics.com/ support@twics.com (会議室) PARTICIPATE	○	会員は個人のホームページの他に、自分の働く会社が提供するサービスを紹介することもできる
	法人						○	
サイバー テクノロジー インターナショナル	個人			約35件	(個人用) http://shrine.cyber.ad.jp/ -jw/shrinehomesg.html	(mail) helper@twics.com/ support@twics.com	○	
	法人			4件	(ビジネス向け) http://www.cyber.ad.jp/ new-CTI/vip/vip-j.html	(会議室) PARTICIPATE	○	

HTMLコーディングが完成したら、 サーバーにアップロードする

オフラインでのHTMLコーディングが完成したら、いよいよプロバイダーのサーバーマシンにアップロードとなる。

先ほどの設置方法別に注意するポイントを挙げると、(1)のデータファイルをプロバイダーに渡す場合は、データファイルの作成ルールが決まっているのでそれに合っているかをチェックしておこう。(2)のFTPでファイルを転送する場合は、テキスト

トファイルかバイナリーファイルかに注意してアップロードしよう。ほとんどのWWWサーバーが稼働しているUNIX、MS-DOS、Macintoshでは、それぞれ改行コードが異なっているからだ。もちろんアップロードの前にはプロバイダーのアップロードのルールに合っているかを再度確認する。また転送



が完了したら、管理者に通知のメールを出すのを忘れないようにしましょう。(3)のWWWホームページの立ち上げをすべてユーザーが行う場合は、ホームページ一覧に登録してもらうためのルール、たとえばディレクトリの名前などが決まっているので、それに合わせるようにしましょう。

ホームページをつくったらみんなに 知らせよう

せっかくホームページをつくったのだから

HOME PAGE OWNER INTERVIEW

これはチャンスだ!
日本初というのは
歴史に残るぞと思ったんです

小林照幸氏

URL <http://www.bekkoame.or.jp/~kbystryk/>

ホームページを作ろうと思った動機は?

去年の10月の終わりが11月の初めだったと思います。日本のインターネット接続プロバイダーとしては初めてBEKKOAME/INTERNETが会員へのホームページの無料開設サービスをアナウンスしたんです。その前から「自分のWWWのホームページを持ちたい」とは思っていたんですけど、それができる環境というのはそれまでなかったんですね。だから「おおっ、今だ、これはチャンスだ! 日本一を維持するのはたいへんなことだけど、日本初というのは歴史に残るぞ!!!」と思ったんです。それに……私、じつはBEKKOAME/INTERNETの入会金を銀行振り込みするときにATM機が使えなくて行員さんにやってもらったほど、機械に弱いんです。そんな私が日本初ということになれば、インターネットっていうのは、少しぐらい機械に弱い人でも誰でもできるんだぞっていうことになるでしょ。

ホームページの制作環境は?

機種はMacintosh LC IIIでした。今じゃ、中古屋でみかけると3万円ぐらいですよ。でも、そのぐらいのマシンでも、十分つくれちゃいますね。普通のグラフィックソフトに普通のエディターです。当時は、HTML作成のためのソフトなんてほとんどありませんでしたから。今も、普通のエディターで書いてます。



BEKKOAME からのサポートは?

前例がなかったわけですからね。まだ会員数も少ない時期だったので、スタッフと電話でマンツーマンですよ。BEKKOAME/INTERNETのスタッフは、みんなやさしいんです。ときどきスタッフとユーザーとで飲み会をやるんですが、そのときみんな情報交換などもできるし……。

ホームページに対する反響は?

そりゃ、多いです。突然メールが来んです。「はじめまして」って。今も1週間に10通ぐらいかな。「参考になりました」とか「質問があります」とかね。雑誌の記事を書いている方も、何人がメールでやりとりしました。ほかにも、企業でホームページを立ち上げたいっていう相談も結構あります。みなさんが聞けは誰でも知っているような一流企業も多いですよ。企業としてさっそく創りたいからっていう相談もあれば、上層部に稟議を通すためのプレゼンテーションの材料として創ってほしいという相談まであります。

これからホームページを作ろうとする人へ

私が相談を受けてきた中で感じたことですが、今、大企業とか年輩の人に多いのは、始めるための動機を一生懸命に探してそこで止まってしまうことなのです。そんなに難しく考えなくても「おいしいラーメン屋さん」を教わって、ちょっと行ってみるぐらいの感覚で試してみたほうがいいんじゃないかな。そのうえで、何か困ったことがあったら私にでも誰にでも気軽に相談してください。技術の知識があることが特別偉いわけじゃないから、知らないからって卑屈になることはまったくないんだし、初めての人とも簡単にコミュニケーションがとれるというのがコンピュータネットワークのすばらしいところなんだから。

ら、できるだけ多くの人に見てもらおう。

プロバイダーのホームページ一覧に登録してもらっただけでなく、自分のホームページを紹介してくれそうなWWWサーバーのオーナーや出版社などに、開設のお知らせメールを出してみよう。

また、GALAXY、InfoSeekなど「サーチエンジン」と呼ばれているサイトに登録してもらうのも1つの方法だ。登録方法には、電子メールで送るタイプと、サーチエンジンにアクセスして登録フォームに記入するタイプの2タイプある。詳しくは本誌の

112ページ「ホームページアクセス倍増計画」を見てほしい。

自分のホームページは自分で管理するのが一番

いつも新鮮な情報が詰まっています、



見た人が面白いと感じ、なんども訪れてくれるというもの。それには、やはり自分のホームページはすべて自分で管理するのが最適といえる。だれに気がなすことなく、思いついたときにすぐ更新できるようになると、インターネットライフが何倍にも楽しくなることうけあいだ。

自分のページを自分で管理することは、最初はすこしまどうかもかもしれないが、慣れてしまえばそう難しいことではない。この特集を参考にして、ぜひチャレンジしてみてください。

HOME PAGE OWNER INTERVIEW

WWWこそ本当のデスクトップパブリッシングと思うんです

フォレスト・リントン氏

URL <http://www.twics.com/~forest/theforest.html>

ホームページを作ろうと思った動機は？

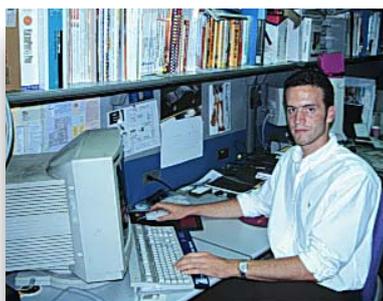
自分の宣伝になること、サイバースペースで目立ちたいこと、「富と名声」(笑) 出版の世界に関わろうとする人たちとコミュニケーションしつつ競争すること.....などです。昔から出版業界に興味を持っていましたし、何らかの形で関わってもきました。Web、そしてサイバースペースは、最も強力な新しいメディアの1つです。ですから当然のなりゆきだったといえるでしょう。

ホームページの制作環境は？

ハードウェアは24MバイトのRAMと1Gバイトのハードディスクを内蔵したMacintosh Quadra 650に16インチモニターを付けて使っています。ソフトはシステム7.1EおよびJ、Microsoft Word、Adobe Photoshop、Astrobyte BeyondPress (QuarkXpress用のHTML自動変換ソフト)、Netscape、NCSA Mosaicなどです。

ホームページを作るのは簡単でしたか？

私はTWICSの会員なのですが、ホームページを作るのは非常に簡単でした。ユーザーはただWWWとという名前のついた個人用スペースにフォルダーを作るだけです。そのフォルダーにデータを入れてやると、TWICSのWebサーバーですぐに見られるようになります。



プロバイダーからのサポートは？

TWICSではインターネットに関するいろいろなトピックでセミナーを開催していますし、電子メールでの質問にも対応は速いですね。もともとTWICSを選んだのは、東京で一般ユーザー向けのサービスを始めた最初のプロバイダーだったからですが、ホームページサー

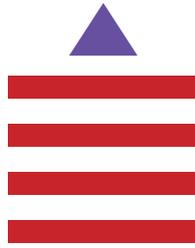
ビスも始まったので、とても満足しています。ホームページのアクセス記録やHTMLフォームによるフィードバックのサービスも重宝しています。

ホームページに対する反響は？

一度も会ったことのない人からよくメールをもらいます。ホームページを褒めてくれたりしますが、日本についての質問もあります。サイバースペースで友人に「再会」したり、新しい友人を作るのはとても愉快的な経験です。他にもメリットがあって.....自分の履歴書をWebで公開したら、突然仕事のオファーが3件も舞い込んできたんですよ。

これからホームページを作ろうとする人へ

1984年のMacintoshの登場、そしてDTP革命は出版界に大きな変化をもたらしています。でも、私の考えでは、DTP革命はまだ始まったばかりなのです。確かに印刷物を作ることが個人でも手軽にできるようになりましたが、そうしてできあがったものを流通させるのは難しいことでした。インターネットで可能になったのが、発想の段階から配達までをカバーする「本当のデスクトップパブリッシング」だと思えます。誰にも参加するチャンスは与えられているのですから、これを利用しない手はないですね。



リムネットWWWサーバー 立ち上げ記

HTMLコーディングで15分。アップロードで15分。WWWサーバーの立ち上げは30分であっけなく終わってしまった。

やはり、実際に立ち上げてみなくては

この特集をまとめる最終段階になって、サーバーの立ち上げ記録をぜひ掲載しようということになった。サーバー立ち上げの実録を紹介すれば、サーバーを立ち上げることがどれほど簡単なことが読者にきっとわかってもらえるだろうと考えたからだ。といっても、もう原稿を書く時間はもちろん、編集する時間もほとんど残されていない。最短時間でサーバーを立ち上げられるプロバイダーはどこだろうと検討した結果、「リムネット」に白羽の矢がたった。リムネットなら、すでにアカウントもあるし、ここなら自由にサーバーマシンにログインしたりファイルを転送したりできる。「自由放任主義」というのか「まったくユーザーに頼っている」というのか……。しかし、このようなときには便利な存在だ。

とにかくホームページをつくって

編集部というところは便利なもので、席にすわったまま「リムネットでホームページ立ち上げたいんだけど、何という名前ですぐディレクトリをつくったっけ？」と大声を出すと、「パブリック・アンダーバー・エイチティーエムエルです」とどこからか答えが返ってくる。

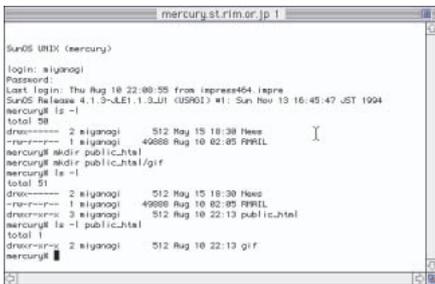
そうか、「それじゃ、1ページでいいからインプレスの編集者ページにリンク張ったやつ書いて〜」という、「わかりましたー」と声が返ってくる。ご存じのようにインターネットマガジンの編集者は自分のホームページを持っているので、簡単なHTMLコーディングなら、ほとんど誰でもこなしてしまうのだ。みんなに助けられて、手配はあっという間に終わってしまった。

いよいよアップロードの時が来た

15分もたつと、「はい、できました」との声が返ってきた。さっそく、その人のマシンからリムネットのサーバーにTELNETでログインする。編集部は専用線だが、ダイヤルアップIP接続の場合も操作は同じだからいいよねということで、アップロードの作業を開始した(じつは、リムネットの場合はインターネットからログインすると使用時間がカウントされないところが違うのだが……。知ってた?)

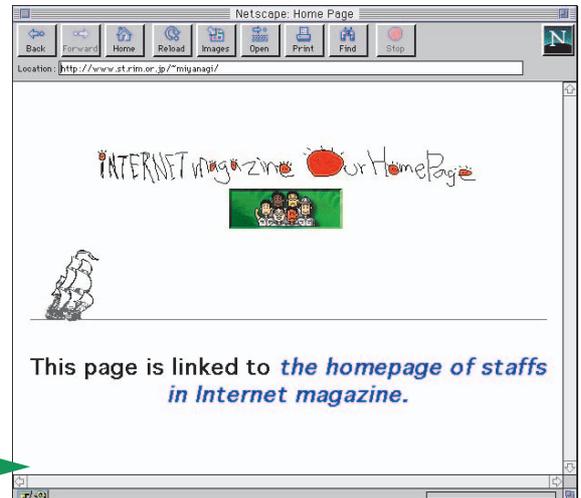
まず最初にやるのは、HTMLファイルを置くディレクトリをつくることだ。mkdirコマンドで“public_html”、その下に画像ファイルを置く“gif”というディレクトリを作成した。

次のステップは、つくったディレクトリの中にファイルをアップロードすることだ。

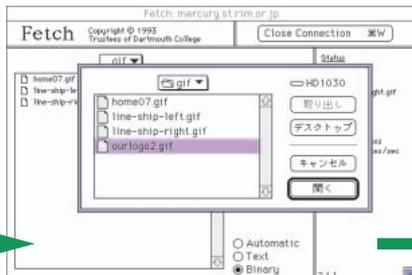


サーバーにログインして必要なディレクトリをつくる

実際にWWWブラウザでアクセスしてチェックする



作成したディレクトリにファイルを転送する



使っていたのがMacintoshだったので、FetchというFTPプログラムを起動してサーバーにログインする。まず目的のディレクトリを表示させたあと、ファイルをアップロードするために「PUT」ボタンをクリックする。ファイル名を選択するダイアログボックスが表示されるので目的のファイルを選択する。次にアップロードするときのフォーマットを聞いてくるので、HTMLファイルの場合は「TEXT」を、画像ファイルの場合は「RAW DATA」を選択する。サイズが小さいせいもあって、アップロードはあっけなく

終わってしまった。

その日の夜にはホームページ一覧に登録される

再度TELNETに戻って、正しくファイルがアップロードされたかを確認する。

最後は、Netscapeを立ち上げ、実際にアクセスしてチェックする。画面のようにちゃんと見えたのであった(あたりまえ!)

さて、ここで問題なのはホームページを立ち上げたのを知っているのは当編集部のたった数人だけである。これでは、宝(?)

の持ち腐れである。ところがリムネットの場合は、ユーザーのホームページ一覧に、自動的に登録してくれるのだからうれしい。といっても、これはリムネットのサービスではなく、あるユーザー(dorachan)のつくったプログラムが每晚ユーザーのディレクトリを1つ1つチェックして、ホームページがあれば自動的に登録してくれるのだ。これで、みんなのホームページを見にきたネットサーファーにアピールすることができる。

さあ、思い立ったが吉日。あなたもさっそくホームページを立ち上げてみよう。

HOME PAGE DESIGN FOR BUSINESS

人を呼び込むためのホームページデザイン

野村総合研究所

URL <http://www.cyber-bp.or.jp/index-j.html>

野村総合研究所(NRI)では、WWWサーバー上で「サイバービジネスパーク」と名付けた仮想の商業施設を構築し、インターネットビジネス利用の実験を行っている。

コンセプトはどのように生まれたのですか

仮想の商業施設のメタファーをどこから持ってくるかという問題が最初にありました。おおまかなコンセプトから出発し、次に実際の都市計画に携わっているスタッフの協力も得て具体化の作業に入りました。とくに参考にした他のサーバーなどはなく、都市デザインのパターンというものが頼りでした。それで、ショッピングゾーンだけでなくオフィスやコンベンションセンターの機能も取り入れたいと考えた結果が都心のイメージだったのです。

デザインでは、何がポイントになりますか

週刊誌は毎週表紙が変わりますが、たいていのホームページは中身が変わっても表紙はそのままですね。それが1つのネックになってい

ると思います。少しずつ色を変えとか、何らかの工夫をしないといけないと思っています。ビジネスで利益を生むかどうかは、何度も来てくれるリピーターの数で決まってくるわけですから。

またユーザーの中には、回線が14.4Kbpsの人もしれば1.5Mbpsの人もあるわけです。特定の機種やソフトウェア、回線速度に依存せ



制作スタッフの鈴木氏、藤元氏、内山氏

ずに利用できるように注意しています。たとえば、色数はなるべく減らして軽くなるようにしています。最近ではHotJavaやVRMLなどの高度なインターフェイスが注目されていますが、それらについては商品購入の意思決定に関わることを見極めてから取り入れようというスタンスです。

実用化のための課題は何ですか

実際のショップではお店の名前を知らなくても、賑わっていれば何だろうと興味をそられて中に入ってみたいということがありますね。それをホームページでうまく表現する手段がまだないんです。いまサイバービジネスパークに出店している企業は誰でも知っている有名企業が多いので問題ないかもしれませんが、なんとか賑わいを表現するうまい方法を見つけないと思っています。

また、現在は実験段階ですから問題はないのですが、実際のビジネスでは企業からも一等地がほしいとか、立地が悪いとかの反応も出てくると思います。そうなると、各企業への公平さということもデザインに関わってくるでしょう。自動的にローテーションできるような仕組みとか、実験であるうちにいろいろ試したいと思っています。

今後のホームページはどうなりますか

まだ進化の途上ですから試行錯誤が続くでしょうが、ひと目見ただけで、ものを売りたいのか、広告なのか、ユーザーからの情報を求めているのかなどの目的や特徴がわかるものは増えてくるでしょう。大事なことは、デザインとは見た目のことだけでなく、シナリオ構成まで含めたものだということです。ヒューマンインターフェイスまで含めた形でデザインを考えるということがこれからの課題ですね。

日本のWebの現状に思う

日本でWebが本格的に上がり始めてから1年足らず、私たちがWeb関連のビジネスを開始して半年余り、この短い間にWebはインターネットの話題を語るのになくはならない存在にまでに成長しました。私たちの仕事は、Webサーバーを立ち上げたいというお客様から、ホームページを作ってほしいというお客様まで、多岐にわたっていますが、綺麗な絵が映って、動画がそこそこ動いて、おしゃべりまでしてくれちゃう、初めてWebをご覧になった方は、一様に何らかの感動を抱き、時代の進化を実感されるようです。

アイアイジェイ メディアコミュニケーションズ：林 聡子

今や、ホームページは名刺代わりに使われている

Webにおけるコンテンツは、昨今ではホームページと呼ばれるようになってきていますが、元々、ホームページとは、本でいえば表紙、家でいえば玄関に相当するもので、Webコンテンツの一番上のページ（一番最初に表示されるページ）の呼称です。

このようにホームページとは、いわば、Webコンテンツの「顔」に当たる部分です。Web草創期には、どこか垢抜けていなかったホームページも、昨今ではどんどん綺麗に美しく、オツシャレーになってきています。その理由を探ると、1つには難しいものと思われがちのコンテンツ作成が、案外易しいということが知られ始めたこと。テキストエディターとちょっとしたお絵書きツールを使ってデータを揃え、後はお気に入りのHTMLソースを真似れば、あっという間にオリジナルのホームページが出来上がってしまいます。単純な画面に色を着けるだけでも、ものすごく綺麗に見えてしまうから不思議なものです。別の理由としては、自前でWebサーバーを持たなくても、比較的低価格でWebコンテンツを設置できるサービスが広まってきたこともあげられます。何らかの手段でインターネットにIP接続できれば、見るだけでなく、自分でホームページを持てるようになったわけです。しかもインターネットは世界規模のマーケットを持つメディアですから、ホームページを開設するということが、全世界に対してものを言うことにも等しいわけです。企業も個人ユーザーも、この魅力的な新しいメディアを何とか攻略しようと、現在のようホームページブームが一気に盛り上が



ったのも何ら不思議なことではありません。今や、ホームページはインターネットで活動する人々や企業の名刺代わりに使われているといっても過言ではないでしょう。

ネットサーフィン、忘れてませんか？

商売柄、日々あちこちのサーバーをアクセスしたり、いろいろなところのホームページを見るにつけ、インターネットは何と賑やかになったのだらうと思います。ところが、同じ画面を表示したままの時間がだんだんと長くなっているのに気がつくまで、そんなに時間がかかりませんでした。他のページをアクセスする気にならないというか、飽きてしまったというか、おいおい、なんだかおかしいんじゃないの？ それどころか、溢れかえる情報の海の中から、本当に搜したいものすら、いらぬ情報が邪魔して、だんだんと見つけにくくなってきてしまっているのではないのでしょうか。

Webは情報提供や検索といった本来の姿から、広告媒体もしくは別の機能を持った機能サーバーへと変化しつつあります。

Webの最も大きな特長の1つとして、ハイパーリンクという機能があります。これ

は、インターネット上に分散した情報サーバーを渡り歩く（上手に情報を検索する）のに欠かせないものです。しかしながら、最近になって開設されたホームページの中では、それが用いられることが著しく少なくなってきています。インターネットサーフィンとは、いくつもの波を渡りながら、インターネットをナビゲートしていくことであつたはずなのに、これができなくなり始めているのです。

このままでは、インターネットは情報の夢の島になってしまう

企業のホームページの典型ともいえるパターンは、社長の挨拶、業務概要、製品案内、地元の紹介などで構成されるものですが、ちょっと考えてみてください。会社概要なんて毎日毎日見たいものでしょうか？ 少なくとも私にとって、まったく関係のない企業だったら、一生に一度も見れば十分だと思ってしまいます。驚くべきことにこのようなホームページが実に多くなってきています。手軽に作れるといってもまとまったボリュームになれば、それなりの作成費用は発生します。手軽にできるオイシイ情報発信は、実は大いなる経費の無駄使いになっているかもしれません。立ち上げ当初は過渡的なアクセスを集めることができても、継続的なアクセスを得られないホームページが急増しています。これは企業のホームページに限ったわけではありません。ひょっとしたら、開設したはいいいけれど、一度も見られないで終わってしまうものもあるかもしれません。今やWebによる情報発信は、一歩間違えば情報投棄になってしまう状況にすらあるといえます。

インターネットは情報の夢の島になってしまうのでしょうか。このような事態を回避し、本当に活用されるホームページを作るにはどうしたらいいのでしょうか。その答えの1つは、Webでの、ひいてはインターネットでの情報発信の意味を、もう一度よく考えてみることです。インターネットを情報メディアという観点で見れば、Webは情報を伝達するという能力に長けたメディアではありません。Webでの情報発信は、アクセスしてもらってこそ初めて、設置された情報が流れていく、実は非常に受動的な一面をもっています。インターネットの情報メディアには、ほかにNetNews、メーリングリストといった旧来のものも存在し、盛んに活用されています。たとえば、NetNewsはWebと異なり、大量のデータを1か所に蓄積するには不向きですが、情報の即時伝達性には優れたメディアです。このようにインターネットでの情報発信を上手に行っていくためには、最新のメディアだけに依存するのではなく、他のメディアを組み合わせる行うことが非常に効果的だと考えられます。

「作る」のは簡単だけど、
「創る」のはとても難しい

今1つの答えは、やはり内容の充実でしょう。多くのホームページは、どこかで既存のホームページHTMLの影響を受けているように思われます。しかしながら、その構成まで真似る必要なんてまったくありません。システムとしてのWebサーバーは単なる情報発信サーバーではなく、さまざまな顔を持った新しい「情報ステーション」として発展しつつあります。コンテンツはWebサーバーの命、作り方次第では商品カタログにもなれば、1冊の本にもなる、はたまた個人のプライベート放送局にもなるわけですが。データを準備して加工して、HTMLにして、さあ発信……ではなくて、インターネット上に自分が確保した空間に

“何を置きたいのか”、作成に入る前にちょっとだけ考えてみてください。そして、アクセスしてくる人がどういう表情で見てくれるかをイメージしてみてください。ホームページは「作る」のは簡単だけど、「創る」のはとても難しいものなんです。

簡単ですが、誰にでもできる「よりよいホームページを開発するヒント」をお教えしましょう。

【作る前】

どういふ人に見てもらいたいのか考えよう。
何を伝えたいのか、1つ主張というものを持ってみよう。

【作った後】

上げたんだよというプロモーションを行おう。
反応をもらう手段を用意し、意見はきちんと受け止めていこう。

【もつと後】

内容は少しずつでも変化を持たせていこう。

あなたのホームページに
主張はありますか？

いずれにせよ、多くの人々が自分の情報を発信しようとするのは非常によいことに違いありません。だからこそ、Webが新しい情報メディアとして市民権を得ていくためにも、ここで一歩進んだ情報発信とは何かを考えてみようではありませんか。苦労して作ったせつかくのホームページが見られずじまいにならないようにするには、いろいろな意味での「見ってもらう工夫」を考えてみてください。デザインに凝るのも一興ですが、適度のお化粧にとどめないと、過ぎたるは及ばざるが如しです。

「何を伝えたいのか」あなたのホームページに主張はありますか？ウキウキ、わくわくする気持ちを忘れない限り、インターネットの向こうからアクセスしてくる人々の顔を忘れない限り、あなたのホームページは見る人に何かを訴えかけてくれることでしょう。

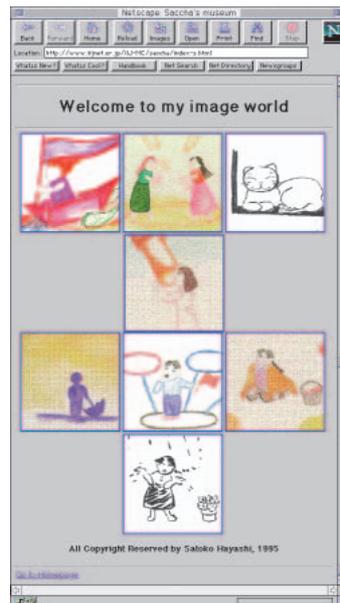
筆者のプロフィール

株式会社アイアイジェイ メディアコミュニケーションズ技術部長。週に1本のペースでWWWホームページを作成しているHTMLオーサリングのエキスパート。寝ても起きてもWeb、Webの毎日が続いている。ここに紹介する2つのサイトは、筆者の手によるものである。



株式会社ベネッセコーポレーション

URL http://www.benesse.co.jp/
現在、イタリアのベネチアで開催中のピエンナーレの中の催しの1つ、「トランスカルチャー展」を紹介している。美術館を訪れる人は、それぞれに違った思惑を抱いている。さあ、どこから巡っていこうか。このサーバーでは、美術館を訪れる人それぞれのドラマをイメージしながら、思い思いのスタイルでトランスカルチャー展の内容を楽しめるような構成と演出を行っている。



私のイメージギャラリー

URL http://www.ijnet.or.jp/IJ-MC/saccha/index-s.html

1993年7月からWWWを通じて発信してきた「絵のメッセージ」の総集編のページ。それぞれの入り口から中は、スライドショー構成になっている。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp